

3. 愛知県試験研究機関等の活動状況

(1) 試験研究機関について

愛知県では、試験研究機関として以下の8機関を設け、各専門分野において多様な試験・研究開発に取り組んでいます。

| 試験研究機関名 愛知県産業技術研究所 | |
|--|--|
| 本所所在地: 〒448-0013 刈谷市恩田町1丁目157-1 電話: 0566-24-1841 |  |
| URL: http://www.aichi-inst.jp/ | |
| 職員数(平成22年4月1日現在本所・支所含む) 165名(うち研究職員数143名) | |
| 平成22年当初予算額(本所・支所含む) 1,595,056千円(うち調査研究費137,680千円) | |
| 設置目的: | |
| 企業が実施する新製品開発における技術課題の解決や、企業の技術開発力の向上等を目指して地域に密着した総合的な技術支援を行う。 | |
| 事業概要: | |
| 本部(刈谷市)、常滑窯業技術センター(常滑市)、瀬戸窯業技術センター(瀬戸市)、食品工業技術センター(名古屋市)、尾張繊維技術センター(一宮市)、三河繊維技術センター(蒲郡市)の県内6拠点において、以下の事業を実施。 1 技術相談・指導 2 依頼試験 3 研究開発 4 技術情報の提供 5 人材育成 | |
| 重点分野: | |
| 1 機械、金属、プラスチック、窯業、食品、繊維など幅広い地域モノづくり業界の技術支援 2 地域において重点的に取り組む戦略的技術分野に関する研究開発 3 産学行政連携によるプロジェクトの立案、研究開発 4 研究成果の技術移転の促進、技術情報の提供 | |

平成22年度に実施した主な研究について

| 名称 | 研究内容 |
|-----------------------------|--|
| 高機能表面材料を用いた応用技術の開発 | 切削工具に微細で周期的な溝を付与し、複合加工機を用いたロータリー切削実験を実施、工具摩耗等について調べた。 |
| 糖類の利活用技術の開発 | バイオエタノールを高効率かつ低コストに生産することを目的に、エタノール発酵微生物の固定化技術について研究を行った。 |
| 液中プラズマ法によるナノ粒子の粒径、形状制御技術の確立 | 液中プラズマ法により、アルミナとジルコニアの酸化物ナノ粒子の合成を試みた。 |
| 機械式教示機構と各種センサの複合化 | 産業用ロボットでの活用を前提に、パラレルワイヤー機構を利用した機械式教示法の高精度化を図った。 |
| 新規な電解質膜および電極触媒の特性評価 | 固体高分子型燃料電池(PEFC)に使用する膜-電極接合体(MEA)の作製方法の改良及び電解質膜の薄膜化技術を組み合わせ、電池特性の評価を行った。 |

| 名称 | 研究内容 |
|----------------------------|---|
| 軽量粘土瓦の実用化研究 | 三州陶器瓦素地(配合粘土)から粗粒を除去した高強度素地を用いて軽量粘土瓦の研究開発を行った。 |
| 瀬戸産原料を活用した高機能ゼオライトの合成技術の開発 | 地域資源である瀬戸産粘土を原材料として、水熱合成技術を応用して付加価値の高い高機能ゼオライトを安価に合成するための技術開発を行った。 |
| 加工方法が機能性に及ぼす影響 | イチジクに含まれる抗アレルギー作用を加工食品で効果的に活かすため、培養細胞を用いたβ-ヘキソサミニダーゼ遊離阻害率を指標に抗アレルギー作用を示す成分の特性を検討した。 |
| 羊毛を中心とするたんぱく質系繊維の低環境負荷染色技術 | ラッカーゼによる酵素処理を行った天然染料により、羊毛を染色する環境にやさしい新規な染色技術について検討した。 |
| 合成繊維の表面改質による機能性付与 | マイクロバブルとオゾンガスを組み合わせたポリエステル等の合成樹脂の表面改質を試みた。 |

平成 22 年度に実施した主な共同研究について

| 共同研究名 | 共同研究先機関名 | 共同研究実施期間 |
|---|---|-------------|
| 食品等の固形異物を検出できる高度な計測デバイスの開発 | 本多電子(株) 名古屋工業大学 | 平成 22 年度から |
| 究極のウェアラブルシステムの開発 | 名古屋大学 名古屋市立大学 豊田工業大学 | 平成 22 年度から |
| はっすい性に優れた防水滑り止めシートの開発 | (株)セイホウ 名古屋大学 | 平成 22 年度から |
| CFRP複合材料部材の新レーザ溶接技術の開発 | (株)最新レーザー技術研究センター (株)齋藤工業 (株)童夢カーボンマジック 今井航空機器工業(株) 名古屋大学 大同大学 | 平成 22 年度から |
| 低熱膨張率・高熱伝導性基板等の研究開発 | (株)ヤスフクセラミックス 丸ス軸業(合) 太陽誘電(株) 名古屋工業大学 名城大学 | 平成 22 年度 |
| 高弾性と多彩な色彩を有する高機能性着色難燃性製造技術の確立 | (株)高木化学研究所 豊橋技術科学大学 | 平成 21年度から |
| 表面にカーボンナノチューブを成長させた新型炭素繊維の開発 | (株)名城ナノカーボン 増岡窯業原料(株) 高砂工業(株) イダ産業(株) 名城大学 | 平成 21,22 年度 |
| 麹菌ホスファターゼ生産機構の解明による低コスト省エネルギー型味噌製造技術の開発 | (株)ビオック ナカモ(株) (独)農業・食品産業技術総合研究機構 | 平成 21 年度から |
| 伝統工芸「絞り」における括り作業のロボットによる自動化 | (有)名南機械製作所 (有)近清商店 大同大学 | 平成 21,22 年度 |
| 金属フタロシアニン内包脱臭触媒を活用した内装用不焼成調湿セラミックス建材の開発 | (株)神清 名古屋工業大学 | 平成 21,22 年度 |

試験研究機関名: 愛知県環境調査センター

本所所在地: 〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6
電話: (052) 910-5490

URL: <http://www.pref.aichi.jp/kankyo-c/>

職員数(平成 22 年 4 月 1 日現在本所・支所含む)
53 名(うち研究職員数 40 名)

平成 22 年当初予算額(本所・支所含む)
564,038 千円(うち調査研究費 2,100 千円)



設置目的:

環境の実態を科学的に把握し、適確かつ有効な施策の推進を図る。

事業概要:

本所(名古屋市北区)、支所(豊橋市)及びもりの学舎(長久手町)において、次の事業を実施している。

- 1 環境に係る測定に関すること。
- 2 環境保全に係る調査研究に関すること。
- 3 環境情報の収集及び提供に関すること。
- 4 環境学習に関すること。(平成 23 年度から環境部環境活動推進課に移管)
- 5 環境技術の普及及び提供に関すること。

重点分野:

- 1 環境調査・行政検査・苦情処理における分析
- 2 産学行政連携による共同研究を始めとした調査研究
- 3 環境情報システム及び WEB 情報提供システムの運用管理
- 4 環境学習プラザ(平成 23 年度から東大手庁舎に移転)及びもりの学舎における環境学習プログラムの実施(平成 23 年度から環境部環境活動推進課に移管)

平成 22 年度に実施した主な研究について

| 名称 | 研究内容 |
|--|---|
| アスベスト分析に係る低温灰化処理条件の検討調査 | アスベスト分析の前処理となる捕集濾紙の最適な低温灰化処理条件を検査し、測定時間の短縮化を図った。 |
| 浮遊粒子状物質の組成等構造解析研究 | 浮遊粒子状物質対策の基礎資料を得るため、環境大気中の浮遊粒子状物質及びばい煙発生施設から排出されたばいじん等の形状、構成元素等を分析した。 |
| PM2.5 と光化学オキシダントの実態解明と発生源寄与評価に関する研究(Ⅱ型共同研究) | PM2.5 と光化学オキシダントの汚染実態を解明し、発生源寄与率を評価するため、平成 22 年度から3か年計画で、国立環境研究所、地方環境研究所 50 機関及び中部大学を始めとした全国6大学と共同研究を実施している。平成 22 年度は初年度であることから、研究の基本方針、調査内容等を議論した。 |
| 河川中の難分解性有機物に関する基礎調査 | 河川等における COD/BOD 比が増加している要因として難分解性有機物の増加が推察されることから、県内の河川水について、長期分解性試験を行い、汚濁機構メカニズム解明の基礎資料とした。 |
| 航空機騒音に係る評価方法の検討調査 | 航空機騒音に係る環境基準の評価指標が WECPNL からLden に変更されることとなり、旧指標から新指標へ移行する場合の測定結果の整合性や、新指標に基づき測定する場合の問題点等について検討を行った。 |
| 未利用バイオマス資源である県内の竹を原材料とする住宅等建築材料の開発 | 環境省の「地域の産学官連携による環境技術開発基盤整備モデル事業」において竹繊維を有効利用した建築材料を試作し、吸音率を測定した。 |
| 大気中の POPs 濃度の気温依存性に関する研究 | 代表的な POPs(残留性有機汚染物質)の一つである PCB について、大気中試料の採取方法を検討するとともに、環境調査センター敷地内で大気中の PCB を採取し、ガス-粒子分配の気温依存性を解析した。 |
| LC/MS/MS を用いたイミノクタジン、ノニルフェノール及びノニルフェノールエトキシレート分析法の開発 | LC/MS/MS を用い水質試料中のイミノクタジンの塩化ベンゾイルによる誘導体化分析法を開発するとともに、ノニルフェノール及びノニルフェノールエトキシレートについて LC/MS/MS による同時分析法を開発した。 |

| 名称 | 研究内容 |
|---------------------|---|
| 東三河地域の「ため池」に関する環境調査 | ため池の役割や機能を知り環境学習のフィールドとしての利用を検討するため、東三河地域に点在するため池の現況を把握するとともに水質調査を実施した。 |

平成 22 年度に実施した主な共同研究について

| 共同研究名 | 共同研究先機関名 | 研究実施期間 |
|---|--------------------------------------|-------------|
| 浮遊粒子状物質の組成等構造解析研究 | 県産業技術研究所 | 平成 21～24 年度 |
| PM2.5 と光化学オキシダントの実態解明と発生源寄与評価に関する研究(Ⅱ型共同研究) | 国立環境研究所、地方環境研究所 50 機関、6 大学 | 平成 22～24 年度 |
| 光触媒材料による有害化学物質浄化技術開発 | 名古屋市工業研究所、 県産業技術研究所 | 平成 21～23 年度 |
| 未利用バイオマス資源である県内の竹を原材料とする住宅等建築材料の開発 | 愛知工業大学 トヨタ T&S 建設(株) 三幸毛糸紡績(株) | 平成 21～22 年度 |
| 地下水浄化に係る簡易浄化装置開発研究 | 名古屋大学エコトピア研究所 | 平成 21～23 年度 |
| 流域の視点からの三河湾浄化総合調査研究 | 豊橋技術科学大学 愛知大学 | 平成 21～23 年度 |

試験研究機関名:愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所

所在地:〒480-0392 春日井市神屋町 713-8
電話:0568-88-0811

URL:<http://www.inst-hsc.jp/>

職員数(平成 22 年 4 月 1 日現在)
43 名(うち研究職員数 31 名)

平成 22 年当初予算額
487,698 千円(うち調査研究費 13,590 千円)



設置目的:

心身の発達障害を軽減し、障害児(者)の社会参加を促進するために、障害の本態及び原因の研究、障害の診断・治療・予防に関する研究、障害児(者)に対する療育・支援・教育に関する研究、障害児(者)の福祉に関する研究を行う。

事業概要:

遺伝学部門、発生障害学部門、周生期学部門、神経制御学部門、病理学部門、機能発達学部門、教育福祉学部門の 7 部門において、発達障害の病因遺伝子の発見、自閉症の発症メカニズムの解明、脳損傷の軽減方法の開発、薬剤による神経再生法の開発、発達障害の治療法を開発するための基礎研究、障害者の自立を助ける支援機器の開発、地域での暮らしにおける支援のあり方などを研究する。

重点分野:

自閉症と重度知的障害

平成 22 年度に実施した研究について

| 名称 | 研究内容 |
|--|--|
| 遺伝子異常症の変異解析: <i>MECP2</i> および <i>ZFH1B</i> 遺伝子変異 | 手の常同運動、自閉傾向等を示すレット症候群の原因遺伝子 <i>MECP2</i> 、精神運動発達遅滞、特異的顔貌等を示す Mowat-Wilson 症候群の原因遺伝子 <i>ZFH1B</i> など遺伝子異常症の変異解析を進めている。 |
| HDAC6 阻害剤は抗うつ薬様作用を示す | うつ病の病態解明と治療薬の開発を目的にモデル動物を用いた研究を進めている。特に抗うつ状態を示す HDAC6 遺伝子欠損マウスを手がかりに脳内の HDAC6 活性を阻害するといった新規治療戦略を検討している。 |
| 低酸素性虚血性脳症モデルマウスにおける δ EF1 の機能解析へ向けて | 周生期の仮死は、低酸素性虚血性脳症を引き起こす。実験的に、転写制御因子 δ EF1 は神経細胞を保護するシグナルを誘発していることが示唆されており、本研究ではそのメカニズムの詳細を検討している。 |
| 脳発達障害の原因究明を目指したライブイメージング技術の開発 | 発達期における神経細胞移動に異常が生じると発達遅滞などの神経疾患が惹起される。これらの脳障害の原因を究明するため、神経細胞移動の様子を経時的に観察する実験手法を開発し、その制御機構の解明を進めている。 |
| 培養オリゴデンドロサイトにおけるプロスタグランジン $F_{2\alpha}$ の機能解析 | $PGF_{2\alpha}$ は、げっ歯類の中枢神経系で産生される主要なエイコサノイドの 1 つである。培養 OL 細胞の分化段階により、 $PGF_{2\alpha}$ 合成酵素の細胞内分布が異なることが示され、その意義とメカニズムを検討している。 |
| 車いす利用者の簡易エネルギー消費量推定 | 歩行可能な人では、身体活動で消費されるエネルギーの推定に万歩計などの健康機器が利用できる。本研究では、万歩計が利用できない車いす利用者において高い精度で消費エネルギーを推定する方法を検討している。 |
| 障害のある子どものコミュニケーション行動に対する母親の概念変化に関する研究—量子力学的数理解析法による検討— | 母親が「障害のある子どものコミュニケーション行動の変化を感情面(概念)からどう捉えているか」を量子力学的に解析しベクトル表示し、間接的に障害児本人のコミュニケーション行動の変化を検討している。 |

| 名称 | 研究内容 |
|---------------------------------|--|
| CADPS2 遺伝子のエクソン3スキップ型 mRNA について | 自閉症関連遺伝子のひとつ CADPS2 は脳由来神経栄養因子 BDNF の分泌に関連する。CADPS2 の mRNA 発現型と自閉症病態との関連ならびに血中 BDNF 量との関連等を検討している。 |

平成 22 年度に実施した共同研究について

| 共同研究名 | 共同研究先機関名 | 共同研究実施期間 |
|---|---|-----------|
| 遺伝子異常症の変異解析: <i>MECP2</i> および <i>ZFHX1B</i> 遺伝子変異 | 豊田市こども発達センター、神奈川県立こども医療センター、広島市こども療育センター、東京女子医科大学附属遺伝子医療センター、大阪府立母子保健総合医療センター | 平成 21 年度～ |
| 培養オリゴデンドロサイトにおける新規プロスタグランジン F _{2α} 合成酵素の発現 | 東亜大 | 平成 21 年度～ |
| 車いす利用者の簡易エネルギー消費量推定 | 名古屋大・医・院、名古屋短大、名古屋工業大 | 平成 21 年度～ |
| 可逆的アセチル化制御をターゲットとした各種精神疾患の病態研究と新規治療戦略の探求 | 名古屋市大・院・薬学研究科 | 平成 22 年度～ |
| モデルマウスを用いた皮膚・毛髪老化抑制剤開発のための評価系の確立 | ホーユー(株)総合研究所 | 平成 20 年度～ |

試験研究機関名: 愛知県衛生研究所

所在地: 〒462-8576 名古屋市北区辻町字流 7-6
電話: 052-910-5618

URL: <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>

職員数(平成 22 年 4 月 1 日現在)
41 名(うち研究職員数 38 名)

平成 22 年当初予算額
543,112 千円(うち調査研究費 11,493 千円)



設置目的:

衛生研究所は、地域保健対策を効果的に推進し、公衆衛生の向上及び増進を図るため、都道府県における科学的かつ技術の中核として、関係行政当局、保健所等と緊密な連携の下に、調査研究、試験検査、研修指導及び公衆衛生情報等の収集・解析・提供を行うことを目的としている。(地方衛生研究所設置要綱)

事業概要:

衛生研究所は次の 4 項目を中心として事業を実施している。

- 1 疾病予防、食品、水質、医薬品、家庭用品等に関する調査研究
- 2 衛生微生物、衛生動物、食品、水、空気、医薬品、家庭用品、温泉等に関する試験検査
- 3 保健所・市町村職員、地域保健関係者に対する研修指導及び試験検査機関に対する技術的指導
- 4 試験検査・公衆衛生情報等の収集・解析・提供

重点分野:

- 1 感染症や食中毒の病原体(ノロウイルス、インフルエンザウイルス、腸管出血性大腸菌、カンピロバクター、MRSA など)及び発生状況に関する試験検査、調査研究並びに検査法の開発
- 2 水道水・河川水・温泉の水質分析及び検査法の研究
- 3 食品中の農薬、食品添加物、放射能及び医薬品中の成分分析及びに試験法の研究
- 4 生活環境(空気、生体内の重金属、花粉、寄生虫等)の分析及び研究

平成 22 年度に実施した主な研究について

| 名称 | 研究内容 |
|--------------------------------------|--|
| 愛知県における循環器疾患死亡及び罹患に関する調査研究 | 愛知県が実施している循環器疾患登録データを活用し、循環器疾患予防に有用な情報提供を行うことを目的に既往歴・体型・生活習慣の循環器疾患罹患リスクに与える影響を検討した。 |
| 愛知県における自殺死亡の地域特性及び社会生活指標との関連 | 地域における有効かつ効果的な自殺予防対策を展開するための基礎資料を得ることを目的に自殺死亡に関連する社会生活指標を検討した。 |
| 愛知県における組換え型および変異型ノロウイルスの流行状況 | ノロウイルスの集団感染例と散発例における組換え型及び GII.4 変異型の関与について検討する目的で、ノロウイルスの分子疫学的解析を実施した。 |
| 下水から検出されるヒト病原ウイルスの動向及び患者由来ウイルスとの比較検討 | 平成 22 年 1 月～12 月の間に週 1 回採水された流入下水 51 件を調べた結果、ノロウイルス、アイチウイルスをはじめ 8 種 23 型 316 株のウイルスを検出し、型別を実施した。 |
| 新型インフルエンザウイルスの性状解析及び分子疫学的解析 | 県内で得られたウイルス株の分子疫学解析を進め、本県におけるインフルエンザ A(H1N1)2009 発生時の感染源は探知初期より単一ではなく、複数の経路から異なるウイルスが持ち込まれたことを示した。 |
| 感染症患者検体からのエンテロウイルス検出感度及び同定型別精度の改良 | エンテロウイルスの遺伝子型別精度向上をめざして VP1 領域及び VP4 領域の配列をリンクしたデータベースを作成し、VP4 領域のみ増幅された検体の一部についても型別推定を可能とした。 |
| 呼吸器系ウイルスの検出に関する研究 | 呼吸器疾患患者検体の約 10%よりインフルエンザ以外のウイルス遺伝子(HMPV、RSV、PIV-2、PIV-3)検出に成功し、一部を遺伝子型別した。 |
| ノロウイルスの抗原性解析と血清診断への応用 | ノロウイルス(NoV)の構造タンパク遺伝子を発現させたタンパク質を利用した NoV 抗体測定法を確立し、NoV 抗体測定法を血清疫学調査や血清学的診断に応用した。 |

| 名称 | 研究内容 |
|-------------------------------|--|
| 腸炎ビブリオの増菌培地に関する研究 | 食中毒原因食品中に存在する耐熱性溶血毒陽性菌を短時間に検出できるシステムを確立する目的で、既知の増菌培地に改良を加えた迅速増菌培地の開発を試みた。 |
| 黄色ブドウ球菌流行クローン調査のための分子疫学手法の開発 | MRSA を含む黄色ブドウ球菌遺伝子保有パターンから近縁関係にある黄色ブドウ球菌を識別できる簡易法を開発し、黄色ブドウ球菌のクローン決定を容易にした。 |
| 培養細胞を用いたシガテラ毒迅速検査法の検討 | 培養細胞を用いた細胞毒性試験法を応用して、代表的な魚介毒であるシガテラ毒検出法の開発を行う |
| 医薬品等の品質評価法の開発及び市販品調査に関する研究 | 医薬品等安全性確保のため、簡便、迅速で、精度の良い分析法、評価法を開発し、医薬品等市販製剤あるいは健康食品に適用し品質を調査した。 |
| 畜水産食品に含まれる微量農薬の分析法と残留実態に関する研究 | 様々な畜水産食品に対応できる頑健性を有し、効率的で費用対効果比が高く、特に、感度及び定量性に優れた分析法を開発する。さらに、開発した分析法を残留モニタリングに応用し、農薬の残留実態を把握に努めた。 |
| 水質試料濃縮保存システムの構築 | 水質リファレンスセンターとしての機能強化を目的に、水質分析に汎用される固相抽出技術を利用して水中の有機化学物質を効率的に濃縮し、安定的に保存するための基礎的条件を確立をめざした。 |
| 尿に含まれるヒ素の化学形態別分析法に関する研究 | 尿に含まれるヒ素の化学形態別定量法を確立する。次に、成人尿中に存在するヒ素の形態別濃度を測定し、存在比率を求める。また、海産物等ヒ素含有食品の摂取状況等と尿中の形態別ヒ素濃度との関連調査を行った。 |

平成 22 年度に実施した主な共同研究について

| 共同研究名 | 共同研究先機関名 | 共同研究実施期間 |
|--|------------------------------------|-----------|
| 厚生労働科学研究 食品の安全・安心確保推進研究事業 「食品中の病原ウイルスのリスク管理に関する研究」 | 国立医薬品食品衛生研究所 | 平成22年度～ |
| 厚生労働科学研究 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業「地方自治体との連携による新型インフルエンザおよび高病原性インフルエンザ変異株、薬剤耐性株等の早期検出、検査診断系の改良および流行把握に関する研究の一部及び本県における関連調査」 | 国立感染症研究所 | 平成22年度～ |
| 厚生労働科学研究 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業「早期麻疹排除及び排除状態の維持に関する研究の一部及び本県における関連調査」 | 国立感染症研究所 | 平成22年度～ |
| 厚生労働科学研究 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業「エンテロウイルス感染症制御のための診断・予防治療に関する国際連携研究」 | 国立感染症研究所 | 平成22年度～ |
| 厚生労働科学研究 健康安全・危機管理対策総合研究事業「地方衛生研究所における網羅的迅速検査法の確立と、その精度管理の実施、及び疫学機能の強化に関する研究」 | 山口県環境保健センター、大阪府立公衆衛生研究所、福岡県保健環境研究所 | 平成22年度～ |
| 厚生労働科学研究 新興・再興感染症研究事業 「新型薬剤耐性菌等に関する研究」 | 国立感染症研究所 | 平成 21 年度～ |
| 厚生労働科学研究 新興・再興感染症研究事業 「食品由来感染症調査における分子疫学手法に関する研究」 | 国立感染症研究所 | 平成 21 年度～ |
| 厚生労働省食品の安全・安心確保推進研究事業「食品防御の具体的な対策の確立と実行可能性の検証に関する研究」 | 国立医薬品食品衛生研究所、国立感染症研究所、奈良県立医科大学 | 平成 21 年度～ |
| 厚生労働省食品の安全・安心確保推進研究事業「食品中に含まれる微量農薬の分析法と精度管理体制の構築に関する研究」 | 大阪府立公衆衛生研究所、奈良県保健環境研究センター | 平成 20 年度～ |
| 厚生労働省化学物質リスク研究事業 「化学物質による子どもへの健康影響に関するエピジェネティクス評価法の開発に関する研究」 | 東京大学、星薬科大学、埼玉県衛生研究所、大阪府立公衆衛生研究所 | 平成 20 年度～ |

試験研究機関名:愛知県農業総合試験場

本場所在地:〒480-1193 愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯 1-1 電話:0561-62-0085

URL:<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>

職員数(平成 22 年 4 月 1 日現在本場・支所含む)
200 名(うち研究職員数 139 名)

平成 22 年当初予算額(本所・支所含む)
2,147,204 千円(うち試験研究費 486,284 千円)



設置目的:

農業の総合的な試験研究を行う。

事業概要:

作物(稲・麦・大豆)、園芸(野菜・果樹・花き)、畜産(牛・豚・鶏)などの新品種生産や経営の技術及び農業環境の保全、機械化の推進やバイオテクノロジーを応用した技術開発などについて試験研究を行っている。

重点分野:

2010 年を目標年度として定めた「食と緑の基本計画」を受け、そのビジョン実現のために「愛知県農林水産業の試験研究基本計画(2006～2010 年)」を策定し、①安全で良質な農産物を生産する技術の開発②環境に配慮した持続的な生産技術の開発③農業経営を支える革新的技術及び品種の開発④地域の特性を生かした農業を支える技術の開発、の 4 項目の重点研究目標により試験研究を行っている。

平成 22 年度に実施した主な研究について

| 名称 | 研究内容 |
|------------------------------------|--|
| 温暖地西部向け多湿田輪換畑向き早生良質小麦品種の育成 | 東海地域に多い多湿水田での栽培に適した早生良質のめん用およびパン用小麦品種を育成する。 |
| 省資源型農業の生産技術体系の確立 | 赤黄色土水田における水稻の生育反応と土壌リン酸量の変化を解析する。 |
| 果樹の樹体ジョイント仕立てを核とした省力・低コスト栽培システムの開発 | イチジクに樹体ジョイント技術を適用し、早期成園化、低コスト・省力化、せん定技術の単純化を実現する栽培技術を開発する。 |
| 水田不耕起乾田直播を核とした環境調和型水田輪作技術 | 水稻不耕起V溝直播栽培における環境調和型栽培技術を確立する。 |
| 次世代モニタリング技術を活用した食の安全・安心技術の開発 | イムノアッセイを利用した簡便で精度の高い残留農薬を検出する方法を開発する。 |
| 転換畑大豆作における帰化アサガオの効率的除草対策の確立 | 帰化雑草アサガオ類の除草対策技術を開発する。 |
| 施設園芸におけるドライミストを核とした夏期高温対策技術の確立 | バラや花壇苗の施設栽培において、超細霧冷房を利用した夏期高温対策技術を開発する。 |
| ジベレリン処理を多面的に活用したヤマノイモの画期的な生産技術の開発 | ジベレリンを利用して、ヤマノイモの高収量栽培技術を開発する。 |
| 都市近郊における和牛放牧技術の確立 | 都市近郊における耕作放棄地を利用した放牧が和牛の栄養生理および行動に及ぼす影響を明らかにする。 |
| 農業に有用な生物多様性の指標及び評価手法の開発 | 温暖地のダイズほ場における環境保全型農法と関連した生物多様性の指標生物を選抜する。 |
| 今こそチャレンジ！国産花きの周年効率安定生産システムの構築 | キク等を対象に、ヒートポンプを利用した効率的な温度管理技術を開発する。 |
| 鶏に絶食ストレスを与えない産卵調整技術の開発 | 低エネルギー飼料等を利用した産卵調整技術の開発を行う。 |

平成 22 年度に実施した主な共同研究について

| 共同研究名 | 共同研究先機関名 | 共同研究実施期間 |
|-----------------------------------|-------------------------|----------|
| イチジク株枯病抵抗性台木を利用した生産安定技術の確立 | 愛知県経済農業協同組合連合会 | H20～H22 |
| 抵抗性遺伝子を集積した黄化葉巻病耐病性丸玉トマト品種の育成 | タキイ種苗株式会社 | H20～H23 |
| コショウランの局所冷房による超低コスト花茎発生技術の開発 | 東海物産株式会社 | H21～H22 |
| キクの開花制御を始めとしたウイルス機能の解明 | 京都大学 | H20～H22 |
| ファースト系黄化葉巻病抵抗性トマト品種の育成 | 愛三種苗株式会社 | H20～H24 |
| デンドロビウム・フォーミディブルの新品種育成及び栽培管理技術の確立 | 愛知県花き温室園芸組合連合会 | H17～H22 |
| イネの新たな耐冷性及びいもち病抵抗性遺伝子の解析に関する研究 | 名古屋大学 | H21～H23 |
| パーラー排水の低コスト浄化処理技術の開発 | 中央化工機株式会社 富士樹脂工業株式会社 | H20～H22 |

試験研究機関名: 愛知県水産試験場

本所所在地: 〒443-0021 蒲郡市三谷町若宮 97
電話: 0533-68-5196

URL: <http://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

職員数(平成 22 年 4 月 1 日現在本所・支所含む)
48 名(うち研究職員数 34 名)

平成 22 年当初予算額(本所・支所含む)
558,079 千円(うち調査研究費 109,077 千円)



設置目的:

水産業の総合的な試験研究を行う

事業概要:

- 1 海面増養殖技術試験
トラフグの効率的な種苗放流による栽培漁業推進技術、アサリなど二枚貝類の漁場管理技術、養殖ノリの優良品種や病害対策技術、アラム藻場再生技術の開発など。
- 2 内水面増養殖技術試験
河川のアユ資源培養技術、ウナギの人工種苗生産技術、キンギョやマス類の優良形質魚作出技術、希少水生生物の増殖技術、内水面養殖魚の高度管理技術及び病害対策技術の開発など。
- 3 水産資源調査試験
水産資源の持続的な有効利用を図るためのイワシ類等の漁況変動予測技術や資源管理技術、実用的な海況・漁況の変動予測技術の開発、資源回復計画の対象種であるトラフグ、マアナゴ、シャコ、イカナゴ等の資源調査など。
- 4 漁場環境試験
優れた水質浄化機能と高い漁場生産力を持つ人工干潟・人工藻場の造成技術、人工干潟機能の維持管理技術の開発、有毒プランクトンや貧酸素水塊の動向調査など。

重点分野:

- 1 水産資源を安定的に育成・培養する技術開発
- 2 持続利用が可能な水産資源を評価・管理する技術開発
- 3 高品質で安全な養殖生産を支える技術開発
- 4 豊かな内湾環境を回復し漁場生産力を高める技術開発

平成 22 年度に実施した主な研究について

| 名称 | 研究内容 |
|-----------------|--|
| 海産動物増養殖試験 | 本県の重要な漁獲対象二枚貝のトリガイ、ミルクイについて、増養殖技術の開発を行う。 |
| 海産植物増養殖試験 | 本県の重要な養殖対象種のノリについて、高水温耐性を有する優良種苗の開発を行う。 |
| ノリ品種判別技術開発試験 | 産地間競争の激化するノリについて、品種の知的財産化が求められていることから、品種判別技術を開発する。 |
| 海産魚介類病害発生試験 | アサリ等の二枚貝について、新たな疾病の監視調査を行う。 |
| 海産植物病害対策試験 | ノリ養殖業の経営悪化を招くあかぐされ病、シミノリ症について、病害の動態を解明し、発生を予防する養殖技術を開発する。 |
| 海産種苗放流技術開発試験 | 本県栽培漁業対象種のトラフグ、クルマエビについて、効果的かつ効率的な放流を実施するための種苗放流技術を開発する。 |
| アラム藻場再生緊急技術開発試験 | 沿岸の生態系保全および水産資源の維持増大を図るため、近年荒廃の著しいアラム属藻場の再生技術を開発する。 |
| 有用貝類資源形成機構調査 | 稚貝発生が少ない前浜干潟域に係る流動環境の解析および漁場空間の評価を行い、稚貝発生量を増大させる方策を検討、実証する。 |
| 藻場再生技術応用開発試験 | 魚類の食害により荒廃したサガラメ藻場の再生を図ることを目的として、サガラメ母藻の移植技術の開発を行う。 |
| エビ類種苗放流技術高度化試験 | エビ類種苗において遺伝子標識を開発し、追跡技術の確立及び正確な回収率の算出を行い、より効果的な放流適地・サイズ等を検討する。 |
| アサリ有害生物生態調査試験 | アサリ漁業に甚大な被害を及ぼすカイヤドリウミグモについて、被害軽減手法の開発を行う。 |

| 名称 | 研究内容 |
|--------------------|--|
| うなぎ養殖技術試験 | 養殖ウナギの商品価値を低下させる「脊椎骨変形」と「着臭魚」の原因および対策を検討する。 |
| うなぎレプトケファルス育成技術試験 | 親魚の栄養状態を強化することにより、良質卵を大量に産出する優良親魚養成技術の開発を行う。 |
| 内水面増養殖指導調査(河川漁場調査) | アユ等河川有用種の増殖、資源維持および河川生態系の健全な維持を図るため、アユの産卵状況および仔魚の流下状況を調査する。 |
| 内水面増養殖指導調査(養殖技術指導) | 内水面養殖業者等に対し、適切な養殖技術指導を行うことにより、養殖経営の安定化を図る。 |
| 内水面増養殖技術試験 | 河川漁場を有効に利用するため、水質などの河川環境やアユ等の河川生物を調査し、アユを始めとした内水面漁業の維持増大を図る。 |
| 冷水魚増養殖技術試験 | 山間地域における養殖経営の安定化を図るため、従来品種のマス類の他、「絹姫サーモン」の養殖技術の開発を行う。 |
| 観賞魚養殖技術試験 | 観賞魚養殖業者の経営安定化を図るため、キンギョヘルペスウィルスを始めとした疾病対策試験、クローン技術を利用した品種改良試験を行う。 |
| 観賞魚新用途開発技術試験 | 金魚の観賞としての目的以外の特質を活かした新たな用途を開発することで需要を喚起し、金魚養殖業者の経営の安定を図る。 |
| 希少水生生物増養殖技術開発試験 | 近年、河川改修等により個体数が激減しているネコギギについて、産卵条件、卵および稚仔魚の管理方法を検討し、種苗生産技術を開発する。 |
| 内湾再生産機構基礎調査 | カタクチイワシ等の漁海況短期予報等の精度向上を図るため、伊勢湾内の卵稚仔、幼稚魚の分布、漁場の利用状況を調査する。 |
| 漁海況予報調査 | 漁業資源の合理的利用と操業の効率化を図るため、本県沿岸域の漁況海況の調査、関係機関との情報交換により、漁況、海況を予測する。 |
| 漁業専管水域内資源調査 | 漁業専管水域内におけるイカナゴ、イワシ類等について、漁獲可能量の算出に必要な資料を取得し、資源予測や管理手法を開発する。また、トラフグ、マアナゴ、シヤコ、イカナゴの資源状況等の資源量調査等を行う。 |
| クラゲ漁業被害軽減対策技術開発試験 | ミズクラゲ大発生による漁業被害を軽減するため、分布域、分布量等のモニタリング手法、クラゲ発生予測技術を開発する。 |
| 小型底びき網漁業構造改善調査 | 小型底曳き網漁業の経営改善および小型投棄魚の保護に資するため、まめ板網漁具の構造を抜本的に見直すことによる漁具の改良試験を行う。 |
| 人工生態系機能高度化技術開発試験 | 人工干潟等の人工生態系の持つ水質浄化機能や生物生産機能を高度化するための技術開発を行うため、アマモ場造成条件やダム砂の覆砂材としての有効性を検討する。 |
| 河口域資源向上技術開発試験 | 稚貝の発生する河口域において、発生場所の環境条件、密度、時期、稚貝の成長等を調査し、稚貝の発生機構を解明する。 |
| ノリ色落ち対策技術開発試験 | ノリの色落ち原因を明らかにし、人為的に制御可能な要因を特定することにより、色落ちによる養殖被害を軽減するための技術を開発する。 |
| 水産生物被害防止基礎調査 | 二枚貝類をへい死させるプランクトンの動向調査を行う。また、貝毒原因プランクトンの発生状況と貝類毒化状況を把握し、貝毒発生機構を解明する。 |
| 干潟・浅場造成事業it | 三河湾内において造成した干潟・浅場について、底質および底生物調査を行い、事業効果を明らかにする。 |
| 漁業資源回復計画推進支援事業調査 | 漁業者による水産資源の効率的な利用と資源管理の実践を推進するため、イカナゴについては、資源動向調査、漁獲量調査、夏眠調査、ヤリイカについては、加入資源の動向、海況との関連を調査する。 |
| のり養殖強化対策事業 | 近年、経営体の減少が顕著なりのり養殖業を支援するため、温暖化に対応した混合種苗や育苗技術の実証試験を行う。 |
| コイヘルペスウィルス病蔓延防止事業 | 特定疾病に指定されているコイヘルペスウィルス(KHV)病の蔓延を防止するため、既発生地区のKHV保有率等を調査する。 |
| 漁場環境実態調査 | 赤潮プランクトンによる漁業被害の防止を図るため、観測等によりプランクトンの種および密度を調査し、関係機関へ通報する。 |
| 貝毒監視対策 | アサリ等の二枚貝について、食品としての安全性を確保するため、貝毒検査を産地別に定期的実施する。 |
| 二枚貝類有害生物対策 | カイヤドリウミグモについて、二枚貝類への寄生状況を調査し、飼育試験等により生態を解明する。 |
| 三河湾生物回復調査 | 三河湾沿岸部における、貧酸素化により生物の生息が困難な水域(いわゆるデッドゾーン)において、現地調査を行い、状況を把握するとともに分布実態を調査する。 |
| アユ種苗放流方法の検討 | アユの漁獲量を回復するため、冷水病に強く、なわばり性の強い種苗を開発し、種苗の特性評価を行う。また、天然遡上を有効利用した新しい放流方法の検討や新しい放流種苗の開発と特性評価を行う。 |
| 水質汚濁調査 | 水質汚濁防止法の規定に基づく公共用水域(海域)の水質監視等を実施する。 |

平成 22 年度に実施した主な共同研究について

| 共同研究名 | 共同研究先機関名 | 共同研究実施期間 |
|--|--------------------|----------|
| 高水温耐性を有するノリ優良種苗の開発 | 愛知県漁業協同組合連合会 | 平成16年度～ |
| 埋立地周辺機能劣化水域の再生高度化技術開発試験 | トヨタ自動車(株)、(株)大林組 | 平成20年度～ |
| 三河湾における局所的な環境悪化水域の実態把握並びに同水域の評価に適した「海の健康診断」手法の開発 | (財)シップ・アンド・オーシャン財団 | 平成21年度～ |

試験研究機関名:愛知県森林・林業技術センター

所在地:〒441-1622 新城市上吉田字乙新多 43-1
電話:0536-34-0321

URL:<http://www.pref.aichi.jp/ringyo-c/>

職員数(平成 22 年 4 月 1 日現在)

20 名(うち研究職員数 9 名)

平成 22 年当初予算額

191,181 千円(うち調査研究費 3,607 千円)



設置目的:

森林は木材生産や公益的機能の発揮の場として、社会的に果たす役割が一層高まっている。このため、森林・林業技術センターでは林業の振興と森林の公益的機能の発揮をより一層図るため、地域のニーズに即応した試験研究を実施するとともに普及指導との連携強化、林業後継者の研修、林木育種事業による優良種苗養成など林業技術について総合的、一貫的な業務を行っている。

事業概要:

1 研修事業

林業生産性向上並びに林業後継者の育成と資質向上を図るため、林業従事者等に対し森林・林業に関する新しい知識及び技術についての各種研修を行っている。また、森林・林業を理解してもらうため、一般県民に対する研修も行っている。

2 普及指導事業

試験研究員と密接な連絡を図り、研究成果の普及と技術指導及び各種情報の収集・発信を行っている。

3 試験研究事業

魅力ある林業の実現と多様な森林・林業の確立を図るため、県農林水産技術会議が策定した、試験研究基本計画 2015(2011~2015 年)に基づいて、地域に密着し成果が直ちに役立つ技術開発を行っている。また、試験研究の企画情報管理を行うとともに、試験研究施設、研究成果について一般県民への理解と関心を高めるため、センターを開放し公開する取組みを年 1 回実施している。

4 木材開放試験室(オープンラボラトリー)事業

木材の加工・試験機器を、木材関係者などに貸付けしている。利用者は、これらの機器を使用し新製品の開発や製品の品質向上を図っている。

5 林木育種事業

県内で選抜した優良な品種系統の精英樹を造成した採種園・採穂園から種子及び苗木を生産し、また県内母樹林から種子を採取し、種苗生産者に有償配布している。また、精英樹の次代検定林を設定し、その成長や材質等の特性について調査を実施している。

重点分野:

森林・林業に関する試験研究では、次の 4 項目を柱として推進している。

1 多様な人工林の省力化育成技術の確立

2 地球温暖化に対応した森林保全技術の確立

3 木材資源の効率的な利用技術の開発

4 地域の特性を活かしたきのこ新品種や新たな栽培技術の開発

平成 22 年度に実施した研究について

| 名称 | 研究内容 (100 字以内) |
|--|--|
| 低コスト育林技術に関する研究 (H21-23) | 低密度植栽や下刈りの省略による植栽木の成長過程の解明と低コストな育林技術の確立 |
| ニホンジカ等による森林被害の効率的防除に関する研究(H22-24) | ニホンジカ等による獣害の被害実態の解明と獣類との共生が可能な効率的な対策手法の確立 |
| 高性能林業機械による列状伐採施業地の林分回復効果に関する研究(H20-22) | 高性能林業機械による列状伐採後の残存木の成長や林床の植生回復状況の調査及び施業効果の検証 |
| 森林の強度伐採による効果のモニタリング (H21-25) | 強度伐採施業地の植生回復や獣害等の実態、植生動態の調査及び効果的な森林管理手法の確立 |
| 伐採後の成林化に関する研究 (H21-23) | 伐採後再造林されていない林分の植生遷移や病虫獣害などの実態解明と成林化手法の確立 |

| 名称 | 研究内容（100字以内） |
|----------------------------------|---|
| 海岸クロマツ林モニタリング調査 (H22-26) | 本県海岸林の実態調査や海岸林造成試験地におけるモニタリング及び造成手法の検討 |
| タケ侵入林の植生回復モニタリング (H22-26) | タケ伐採跡地の植生調査と新規伐採地の実態調査及び森林再生手法の検討 |
| 森林吸収源モニタリング (H17-22) | 森林バイオマスデータの収集と森林施業による温室効果ガスの吸収・排出量の調査 |
| ツブラジイ材に関する研究 (H22-24) | 県内で蓄積の豊富なツブラジイの材質特性の解明と特性を活かした利用法の開発 |
| 県産材の流通実態とスギ材の利用法に関する研究(H21-23) | 県産材の流通実態調査と県産スギ材の特色を活かした付加価値利用法の開発 |
| 簡易な木材保存技術の開発 (H20-22) | 保存処理木材の利用拡大と環境負荷低減を図るため、物理的な手法による木材の前処理法の検討 |
| 立ち枯れに強いエリンギ新品種の開発 (H21-23) | エリンギの耐病害性菌株の選抜と選抜菌株の交配による耐病害性新品種の開発 |
| キサケツバタケの栽培技術に関する研究 (H19-22) | 野生から選抜した新しい食用きのこ「キサケツバタケ」の効率的な栽培技術の開発 |
| ツブラジイを活用したきのこ栽培技術の開発 (H22-24) | 県内で蓄積の豊富なツブラジイを利用したシイタケ栽培技術の確立と栽培に適した品種の選抜 |

平成 22 年度に実施した主な共同研究について

該当なし

試験研究機関名:愛知県がんセンター研究所

所在地:〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿 1-1
電話:052-762-6111

URL:<http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

職員数(平成22年4月1日現在)

51名(うち研究職員数42名)

平成22年度当初予算額

1,335,114千円(うち調査研究費103,806千円)



設置目的:

研究所が中央病院とともに車の両輪の如く機能している総合がんセンターとしての特質を活かし、がん克服のための総合的研究の推進、特にがん細胞の悪性化につながる浸潤や転移の機序を解明する基礎的研究から高度な診断・治療に繋がる前臨床的研究、さらに予防対策を推進するための疫学研究まで、がんの根本的制圧のための幅広い研究活動を行なう。

事業概要:

がんの基礎的研究から実際の医療に結びつく研究を展開していくため、疫学・予防研究系(がんの要因探索と予防対策に向けての研究)、診断・治療研究系(新しい診断・治療方法を開発するための前臨床的研究)、発がん制御研究系(発がんや転移の仕組みを解明し、がんの予防研究や前臨床的研究を支援するための研究)の3分野を柱とした研究活動を行なっている。

重点分野:

がん対策基本法に則って、愛知県におけるがんの診療拠点施設として県下におけるがんの罹患率と死亡率を低減させていくため、下記を重点分野としている。

- 1 発がん制御に関わるがん細胞の増殖・浸潤・転移の機序解明のための細胞生物学的研究
- 2 がんの予後改善に結びつく微小転移の解明や免疫療法を開発するためのトランスレーショナル(臨床応用)研究
- 3 がんの一次予防と二次予防を推進するための大規模な疫学研究

平成22年度に実施した研究について

| 名称 | 研究内容 |
|--------------|---|
| プロジェクト研究 | 加齢性EBV関連B細胞性リンパ増殖異常症の臨床病理学的及び分子生物学的解析 |
| プロジェクト研究 | 悪性中皮腫移植マウスモデルでのTGF-β阻害剤による腫瘍増殖抑制効果 |
| 部別研究課題(研究所長) | 日本と東アジア諸国における民族疫学研究 |
| 疫学・予防部 | がん統計情報の構築に必要な地域がん登録の精度向上を目指した記述疫学研究 他多数 |
| 腫瘍病理学部 | 人体剖検例の病理組織学的研究 他多数 |
| 分子腫瘍学部 | 肺がんの発症・進展機序の解明と分子標的療法の探索 他多数 |
| 遺伝子医療研究部 | 造血器腫瘍発症機構の分子生物学的研究及び診断治療への応用 他多数 |
| 腫瘍免疫学部 | 腫瘍抗原の免疫学的、分子生物学的検索 他多数 |
| 腫瘍ウイルス学部 | ヒトがんウイルスの増殖と宿主細胞応答の解析 他多数 |
| 分子病態学部 | 癌の浸潤・転移及び腫瘍血管新生における細胞間識別・接着機構とその動態の研究 他多数 |
| 発がん制御研究部 | 中間径フィラメント関連蛋白質を介した発がんの基礎研究 他多数 |

| 名称 | 研究内容 |
|--------------------|---|
| 中央実験室 | 食道がん、頭頸部腫瘍の分子遺伝学的研究 他多数 |
| 病院における課題別研究課題 | がん治療におけるインターベンショナル・ラジオロジーの応用についての研究 他多数 |
| 病院・研究所両部門による共同研究課題 | 非小細胞肺癌における EGFR 遺伝子変異とIressa治療効果に関する前向き研究 他多数 |

平成 22 年度に実施した共同研究について

| 共同研究名 | 共同研究先機関名 | 共同研究実施期間 |
|--|--------------------------|-----------------|
| 正常培養細胞を用いた癌関連遺伝子導入による腫瘍化機構の解明 | 株式会社免疫生物学研究所 | 20.4.1～23.3.31 |
| 血液を対象とした質量分析装置による新たな癌スクリーニング法の開発 | 株式会社オンコムクス | 20.10.1～23.3.31 |
| 新しい遠隔診断病理診断システムの検討 | フィンガルリンク株式会社 | 21.4.1～24.3.31 |
| 抗リン酸化チェックポイントキナーゼ1 (Chk1) 抗体の網羅的作製 | 株式会社 医学生物学研究所 | 22.4.1～23.3.31 |
| がんの環境・宿主要因、および両者の相互作用を解明するための病院疫学研究(HERPACC:Hospital-based Epidemiologic Research Program at Aichi Cancer Center)における生化学検査実施 | 株式会社ファルコバイオシステムズ | 22.4.1～23.3.31 |
| 赤血球膜組織リン脂質の脂肪酸構成レベルと肝がん等の発症との関連の研究 | 株式会社ファルコバイオシステムズ | 22.4.1～23.3.31 |
| スフィンゴ脂質分子種多様性の研究 | 株式会社島津製作所 応用技術部京都 ADC | 22.4.1～23.3.31 |
| がん細胞増殖に関わる特異なグリコサミノグリカン発現機構の解明 | 生化学バイオビジネス株式会社 | 22.4.1～23.3.31 |
| 消化器癌に対する新規分子標的薬の薬効評価および感受性予測マーカーの探索 | 大鵬薬品工業株式会社 | 22.4.1～23.3.31 |
| 「知の拠点」重点研究プロジェクト 他 | 財団法人科学技術交流財団 | 22.4.1～23.3.31 |

(2) 公益財団法人科学技術交流財団について

(公財)科学技術交流財団では、愛知県地域における科学技術の発展に向けた各種取組みを行っています。

| 名称:公益財団法人科学技術交流財団 | |
|--|---|
| <p><本部> 所在地:名古屋市中区丸の内二丁目 4-7 愛知県産業貿易館西館 7 階 電話:052-231-1477 <研究交流センター> 所在地:名古屋市中村区名駅四丁目 4-38 愛知県産業労働センター15 階 電話:052-485-7370 URL:http://www.astf.or.jp/</p> |  |
| <p>設立:平成 6 年 9 月 1 日 基本財産:60 億 3,717 万円(平成 23 年 3 月 31 日現在) 最終目標 70 億円</p> | |
| <p>代表者 会長 豊田 章一郎 (トヨタ自動車(株)名誉会長) 理事長 松尾 稔 (名古屋大学名誉教授)</p> | |
| <p>理事数 27名(平成 23年 6 月 7 日現在) 職員数 51 名</p> | |
| 設置目的: | |
| <p>愛知県地域における科学技術研究を活発化させ、新産業の創出を促すことにより、産業活動の発展と生活の質の向上に寄与する。</p> | |
| 事業概要: | |
| <p>科学技術に関する研究交流事業、共同研究推進事業、情報提供事業、中小企業技術支援事業、科学技術コーディネイト事業、教育研修事業などを行っています。 また、国等の共同研究などの受託事業を実施する際の中核機関としての役割も果たしており、知的クラスター創成事業、地域イノベーション創出研究開発事業、基盤技術高度化支援事業等を行っています。 さらに、愛知県が推進する「知の拠点」づくりにおいては、産・学・行政が連携して行う重点研究プロジェクトの運営を担うとともに、次世代ものづくりに不可欠なナノレベルの先端計測分析施設である「中部シンクロトン光利用施設(仮称)」を地域の産・学・行政による連携・協力のもと整備します。</p> | |

4. 愛知県内における科学技術関係機関等

(財) 名古屋産業科学研究所について

- ア 所在地
名古屋市中区栄二丁目 10-19
- イ 代表者
理事長 内藤 進 (リンナイ(株)取締役会長)
- ウ 設立年月日
昭和 18 年 7 月 1 日 (文部大臣 (旧内閣技術院) 許可)
- エ 主務官庁
文部科学省と経済産業省が共管 (昭和 62 年 2 月 20 日)
- オ 目的
本財団は、産業に関する学術の研究を行い、我が国産業の発展に貢献すること。
- カ 事業内容
- ・産業の科学に関する基礎的研究
 - ・産業の生産技術に関する研究
 - ・産業の生産技術の研究開発に従事する人材の養成
 - ・産業の科学・生産技術に関する研究成果の普及並びに調査及び研究の受託
 - ・大学等における技術に関する研究成果の産業界への移転に関する事業

(財) 中部科学技術センターについて

- ア 所在地
名古屋市中区大須一丁目 35-18 一光大須ビル 7 階
- イ 代表者
会長 野嶋 孝 (中部電力(株)顧問)
- ウ 設立年月日
昭和 42 年 8 月 28 日 (内閣総理大臣 (科学技術庁) 許可)
- エ 主務官庁
文部科学省、及び経済産業省が共管 (昭和 56 年 5 月 15 日)
- オ 目的
科学技術振興に関する諸事業を総合的かつ効果的に推進し、科学技術水準の向上を図り、もって中部地方産業の発展に寄与すること。
- カ 事業内容
- ・科学技術の研究及び開発の促進及び助成
 - ・中小企業の技術振興、科学技術の普及及び啓発
 - ・科学技術振興に関する調査、意見具申
 - ・産業界、学界、研究機関、官庁との連携強化等

(財) ファインセラミックスセンターについて

ア 所在地

名古屋市熱田区六野二丁目 4-1

イ 代表者

会長 庄山 悦彦 ((株)日立製作所相談役)

ウ 設立年月日

昭和 60 年 5 月 7 日 (通商産業大臣許可)

エ 主務官庁

経済産業省

オ 目的

ファインセラミックスに関する統一的試験評価体制の整備を中心とする技術的基盤の整備及び研究開発を通じて、同製品の品質の改善向上に資するとともに、今後の利用及び用途の拡大に寄与することにより、ファインセラミックスに関連する産業を振興し、もって我が国経済の発展と国民生活の向上に貢献すること。

カ 事業内容

- ・ファインセラミックスの製造及び利用に関する研究開発
- ・ファインセラミックスに関する試験、検査及び評価の方法の開発
- ・ファインセラミックスに関する新技術等が中小企業で幅広く活用されるように共同研究開発や設備機器の利用促進
- ・ファインセラミックスに関する試験及び検査並びにその結果の証明及び評価
- ・ファインセラミックスに関する試験機器の使用公開
- ・ファインセラミックスの製造及び利用に関する技術指導、講習会及び研修会の開催、普及及び啓発、情報の収集及び提供、国際交流

(財) 東海産業技術振興財団について

ア 所在地

豊橋市西幸町字浜池 333-9 (豊橋サイエンスコア内)

イ 代表者

理事長 三田 敏雄 (中部電力(株)代表取締役会長)

ウ 設立年月日

昭和 62 年 7 月 1 日 (通商産業大臣許可)

エ 主務官庁

経済産業省

オ 目的

東海地域において、産学官の緊密な連繋のもとに、産業技術に関する研究に対する助成等を行うことにより、東海地域における産業の振興及び活力ある創造性豊かな地域経済の実現を図り、もって我が国経済の健全な発展に寄与すること。

カ 事業内容

- ・東海地域における産業技術に関する研究に対する助成
- ・東海地域における産業技術に関する普及啓発
- ・東海地域における産業技術に関する技術ニーズとシーズの把握

(財) 人工知能研究振興財団について

ア 所在地

名古屋市東区白壁三丁目 12-13 (中産連ビル本館 3 階)

イ 代表者

理事長 内藤 弘康 (リンナイ(株)取締役社長)

ウ 設立年月日

平成 2 年 3 月 22 日 (通商産業大臣許可)

エ 主務官庁

経済産業省

オ 目的

人工知能の研究に対する助成、人工知能に関する講演会、シンポジウム、セミナーの開催等を行うことにより、人工知能に関する研究の振興を図り、もって産業技術の高度化及び我が国経済の健全な発展に寄与すること。

カ 事業内容

- ・人工知能の研究に対する助成
- ・人工知能に関する講演会、シンポジウム、セミナー等の開催
- ・人工知能に関する調査・研究、情報の収集・提供、研究に関する相談・指導

5. 愛知県内における主な大学及び研究機関、地域研究支援機関等

(1) 大学

| 大学名(学長) | 所在地・連絡先・ホームページアドレス | 学部 |
|---------------------|--|---|
| 愛知医科大学 (石川 直久) | 〒480-1195 愛知郡長久手町大字岩作字雁又 21 TEL:0561-62-3311 http://www.aichi-med-u.ac.jp/ | 大学院: 医学研究科 看護学研究科 学部: 医学部 看護学部 |
| 愛知学院大学 (大野 榮人) | 日進キャンパス TEL:0561-73-1111 〒470-0195 日進市岩崎町阿良池12 楠元キャンパス TEL:052-751-2561 〒464-8650 名古屋市千種区楠元町1-100 末盛キャンパス TEL:052-759-2111 〒464-8651 名古屋市千種区末盛通2-11 http://www.aichi-gakuin.ac.jp/ | 大学院: 文学研究科、心身科学研究科、商学研究科、 経営学研究科、法学研究科、総合政策研究科、薬学 研究科、歯学研究科、法科大学院 学部・学科: 文学部、心身科学部、商学部、経営学 部、法学部、総合政策学部、薬学部、歯学部、教養 部、短期大学部、留学生別科 |
| 愛知学泉大学 (若林 努) | 岡崎キャンパス TEL 0564-34-1215 〒444-8520 岡崎市触越町上川成 28 豊田キャンパス TEL 0565-35-1313 〒471-8532 豊田市大池町汐取 1 http://www.gakusen.ac.jp/u/top.php | 学部紹介: 現代マネジメント学部、家政学部、経営学 部(募集停止)、コミュニティ政策学部(募集停止) |
| 愛知教育大学 (松田 正久) | 〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1 TEL:0566-26-2111 http://www.aichi-edu.ac.jp/ | 大学院: 教育学研究科、教育実践研究科 学部: 教育学部 |
| 愛知県立芸術大学 (磯見 輝夫) | 〒480-1194 愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯 1-114 TEL:0561-62-1180 http://www.aichi-fam-u.ac.jp/ | 大学院: 美術研究科、音楽研究科 学部: 美術学部、音楽学部 |
| 愛知県立大学 (佐々木 雄太) | 長久手キャンパス TEL 0561-64-1111 〒480-1198 愛知郡長久手町大字熊張字茨ヶ廻間 1522-3 守山キャンパス TEL052-736-1401 〒463-8502 名古屋市守山区上志段味東谷 http://www.aichi-pu.ac.jp/ | 大学院: 国際文化研究科、情報科学研究科、人間発 達学研究科、看護学研究科 学部: 日本文化学部、外国語学部、情報科学部、教育 福祉学部、看護学部 |
| 愛知工科大学 (内田 高峰) | 〒443-0047 蒲郡市西迫町馬乗 50-2 TEL:0533-68-1135 http://www.aut.ac.jp/ | 大学院: 工学研究科 学部: 工学部 |
| 愛知工業大学 (後藤 泰之) | 八草キャンパス 〒470-0392 豊田市八草町八千草 1247 TEL:0565-48-8121 本山キャンパス 〒464-0807 名古屋市千種区東山通 1-38-1 TEL:052-789-1381 自由ヶ丘キャンパス 〒464-0044 名古屋市千種区自由ヶ丘 2 丁目 49-2 TEL:052-757-0810 http://www.ait.ac.jp/ | 大学院: 工学研究科、経営情報科学研究科 学部: 工学部、経営学部、情報科学部 |
| 愛知産業大学 (小川 英明) | 〒444-0005 岡崎市岡町原山 12-5 TEL:0564-48-4511 http://asu-g.net/univ/ | 大学院: 造形学研究科 学部: 造形学部、経営学部、通信教育部 |
| 愛知新城大谷大学 (清水 秀美) | 〒441-1306 新城市川路字萩平 1-125 TEL:0536-23-3311 http://www.owari.ac.jp/shinshiro/index.htm | 学部: 社会福祉学部(募集停止)、短期大学部(募集停 止) |
| 愛知淑徳大学 (島田 修三) | 長久手キャンパス TEL:0561-62-4111 〒480-1197 愛知郡長久手町長湫片平 9 星ヶ丘キャンパス TEL: 052-781-1151 〒464-8671 名古屋市千種区桜ヶ丘 23 http://www.aasa.ac.jp/ | 大学院: 文学研究科、教育学研究科、現代社会研究 科、グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科、ビジネス研究 科、心理学研究科、文化創造研究科、医療福祉研究 科 学部: 文学部、人間情報学部、心理学部、メディアプロ デュース学部、健康医療科学部、福祉貢献学部、交 流文化学部、ビジネス学部 |

| 大学名 (学長) | 所在地・連絡先・ホームページアドレス | 学部 |
|--------------------|--|--|
| 愛知大学 (佐藤 元彦) | 豊橋キャンパス TEL:0532-47-4111 〒441-8522 豊橋市町畑町 1-1 名古屋キャンパス TEL:0561-36-1111 〒470-0296 みよし市黒笹町清水 370 車道キャンパス TEL:052-937-8111 〒461-8641 名古屋市東区筒井 2 丁目 10-31 http://www.aichi-u.ac.jp/asp/pub/Au_top.asp | 大学院:法務研究科、会計研究科、経営学研究科、法 学研究科、中国研究科、経済学研究科、文学研究 科、国際コミュニケーション研究科 学部:法学部、経営学部、現代中国学部、経済学部、 文学部、国際コミュニケーション学部、地域政策学部 |
| 愛知文教大学 (増田 孝) | 〒485-8565 小牧市大字大草字年上坂 5969-3 TEL:0568-78-2211 http://www.abu.ac.jp/ | 大学院:国際文化研究科 学部:国際文化学部、人文学部 |
| 愛知みずほ大学 (國井 鏡) | 〒470-0394 豊田市平戸橋町波岩 86-1 TEL:0565-43-0111 http://amc.mizuho-c.ac.jp/hp/top.html | 学部:人間科学部、短期大学部 |
| 桜花学園大学 (石黒 宣俊) | 名古屋キャンパス TEL:0562-97-6311 〒470-1193 豊明市栄町武侍 48 豊田キャンパス TEL:0565-35-3131 〒471-0057 豊田市太平町七曲 12-1 http://www.ohkagakuen-u.ac.jp/ | 大学院:人間文化研究科 学部:人文学部、保育学部 学芸学部 |
| 金城学院大学 (柏木 哲夫) | 〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目 1723 TEL:052-798-0180 http://www.kinjo-u.ac.jp/ | 大学院:文学研究科、人間生活学研究科 学部:文学部、生活環境学部、現代文化学部、人間科 学部、薬学部 |
| 椋山女学園大学 (野淵 龍雄) | 星が丘キャンパス TEL:052-781-1186 〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町 17-3 日進キャンパス TEL:0561-74-1186 〒470-0131 日進市岩崎町竹ノ山 37-234 http://www.sugiyama-u.ac.jp/ | 大学院:生活科学研究科、人間関係学研究科 学部:生活科学部、国際コミュニケーション学部、人間関係 学部、文化情報学部、現代マネジメント学部、教育学部、 看護学部 |
| 星城大学 (水野 豊) | 〒476-8588 東海市富貴ノ台二丁目 172 TEL:052-601-6000 http://www.seijoh-u.ac.jp/ | 大学院:健康支援学研究科 学部:経営学部、リハビリテーション学部 |
| 大同大学 (澤岡 昭) | 滝春校舎 TEL:052-612-6111 〒457-8530 名古屋市南区滝春10-3 白水校舎 TEL:052-612-5571 〒457-8532 名古屋市南区白水町40 http://www.daido-it.ac.jp/ | 大学院:工学研究科、情報学研究科 学部:工学部、情報学部 |
| 中京大学 (北川 薫) | 名古屋キャンパス TEL:052-835-7111 〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町 101-2 豊田キャンパス TEL:0565-46-1211 〒470-0393 豊田市貝津町床立 101 http://www.chukyo-u.ac.jp/ | 大学院:文学研究科、国際英語学研究科、心理学研 究科、法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、ビ ジネス・イノベーション研究科、法務研究科、社会学研究 科、情報科学研究科、体育学研究科 学部:文学部、国際英語学部、国際教養学部、心理学 部、法学部、総合政策学部、経済学部、経営学部、現 代社会学部、情報理工学部、体育学部(募集停止)、 スポーツ科学部 |
| 至学館大学 (谷岡 郁子) | 〒474-8651 大府市横根町名高山55 TEL:0562-46-1291 http://www.chujo-u.ac.jp/ | 大学院:健康科学研究科 学部:健康科学部、人文学部、短期大学部 |
| 中部大学 (山下 興亜) | 春日井キャンパス TEL:0568-51-1111 〒487-8501 春日井市松本町 1200 名古屋キャンパス TEL:052-251-6336 〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-14-22 http://www.chubu.ac.jp/ | 大学院:国際人間学研究科、経営情報学研究科、工 学研究科、応用生物学研究科、生命健康科学研究科 学部:人文学部、現代教育学部、国際関係学部、経営 情報学部、工学部、応用生物学部、生命健康科学部 |
| 東海学園大学 (袖山 榮眞) | 名古屋キャンパス TEL:052-801-1201 〒468-0014 名古屋市天白区中平 2-901 三好キャンパス TEL:0561-36-5555 〒470-0207 みよし市福谷町 http://www.tokaigakuen-u.ac.jp/ | 大学院:経営学研究科 学部:経営学部、人文学部、人間健康学部、健康栄養 学部 |
| 愛知東邦大学 (成田 良一) | 〒465-8515 名古屋市名東区平和が丘 3-11 TEL:052-782-1241 http://www.aichi-toho.ac.jp/ | 学部:経営学部、人間学部 |
| 同朋大学 (尾畑 文正) | 〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町7-1 TEL:052-411-1113 http://www.doho.ac.jp/ | 大学院:人間福祉研究科、文学研究科 学部:社会福祉学部、文学部 |
| 豊田工業大学 (榊 裕之) | 〒468-8511 名古屋市天白区久方 2-12-1 TEL:052-802-1111 http://www.toyota-ti.ac.jp/ | 大学院:工学研究科 学部:工学部 |

| 大学名 (学長) | 所在地・連絡先・ホームページアドレス | 学部 |
|--------------------|---|---|
| 豊橋技術科学大学 (榑 佳之) | 〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 TEL:0532-47-0111 http://www.tut.ac.jp/ | 大学院:工学研究科 学部:工学部 |
| 豊橋創造大学 (伊藤 晴康) | 〒440-8511 豊橋市牛川町松下20-1 TEL:050-2017-2101 http://www.sozo.ac.jp/ | 大学院:経営情報学研究科、健康科学研究科 学部:情報ビジネス学部、保健医療学部、短期大学部 |
| 名古屋大学 (濱口 道成) | 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 TEL:052-789-5111 http://www.nagoya-u.ac.jp/ | 大学院:文学研究科、法学研究科、理学研究科、工学研究科、多元数理科学研究科、国際言語文化研究科、教育発達科学研究科、経済学研究科、情報科学研究科、医学系研究科、生命農学研究科、国際開発研究科、環境学研究科 学部:文学部、法学部、理学部、工学部、教育学部、経済学部、医学部、農学部、情報文化学部 |
| 名古屋音楽大学 (高橋 肇) | 〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町7-1 TEL:052-411-1115 http://www.meion.ac.jp/ | 大学院:音楽研究科 学部:音楽学部 |
| 名古屋外国語大学 (水谷 修) | 〒470-0197 日進市岩崎町竹ノ山57 TEL:0561-74-1111 http://www.nufs.ac.jp/ | 大学院:国際コミュニケーション研究科 学部:外国語学部、現代国際学部 |
| 名古屋学院大学 (木船 久雄) | 名古屋キャンパス白鳥学舎 TEL:052-678-4080 〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1-25 名古屋キャンパス日比野学舎 TEL:052-678-4076 〒456-0062 名古屋市熱田区大宝三丁目1-17 瀬戸キャンパス TEL:0561-42-0350 〒480-1298 瀬戸市上品野町1350 http://www.ngu.jp/ | 大学院:経済経営研究科、外国語学研究科 学部:経済学部、商学部、外国語学部、人間健康学部、スポーツ健康学部、リハビリテーション学部 |
| 名古屋経済大学 (末岡 照章) | 〒484-8504 犬山市内久保61-1 TEL:0568-67-0511 http://www.nagoya-ku.ac.jp/ | 大学院:法学研究科、会計学研究科、人間生活科学研究科 学部:経済学部、経営学部、法学部、人間生活学部、短期大学部 |
| 名古屋芸術大学 (竹本 義明) | 東キャンパス TEL:0568-24-0315 〒481-8502 北名古屋市熊之庄古井281 西キャンパス TEL:0568-24-0325 〒481-8535 北名古屋市徳重西沼65 http://www.nua.ac.jp/ | 大学院:美術研究科、音楽研究科、デザイン研究科、人間発達研究科 学部:美術学部、音楽学部、デザイン学部、人間発達学部 |
| 名古屋工業大学 (高橋 実) | 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 TEL:052-735-5000 http://www.nitech.ac.jp/ | 大学院:工学研究科 学部:工学部 |
| 名古屋産業大学 (伊藤 雅一) | 〒488-8711 尾張旭市新居町3255-5 TEL:0561-55-5101 http://www.nagoya-su.ac.jp/ | 大学院:環境マネジメント研究科 学部:環境情報ビジネス学部 |
| 名古屋商科大学 (栗本 宏) | (日進キャンパス) 〒470-0193 日進市米野木町三ヶ峯 TEL:0561-73-2111 (名古屋伏見キャンパス) 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-20-1 TEL:052-203-8111 http://www.nucba.ac.jp/ | 大学院:マネジメント研究科、会計ファイナンス研究科 学部:マーケティング学部、経済学部、経営学部、コミュニケーション学部、商学部 |
| 名古屋女子大学 (越原 一郎) | 汐路学舎 TEL:052-852-1111 〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町3-40 天白学舎 TEL:052-801-1133 〒468-8507 名古屋市天白区高宮町1302 http://www.nagoya-wu.ac.jp/ | 大学院:生活学研究科、人文科学研究科 学部:家政学部、文学部、短期大学部 |
| 名古屋市立大学 (戸蒔 創) | 川澄キャンパス TEL:052-853-8005 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 田辺通キャンパス TEL:052-836-3402 〒467-8603 名古屋市瑞穂区田辺通3-1 山の畑キャンパス TEL:052-872-5702 〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1 北千種キャンパス TEL:052-721-1225 〒464-0083 名古屋市千種区北千種2丁目1-10 http://www.nagoya-cu.ac.jp/ | 大学院:医学研究科、薬学研究科、経済学研究科、人間文化研究科、芸術工学研究科、看護学研究科、システム自然科学研究科 学部:医学部、薬学部、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、看護学部 |
| 名古屋造形大学 (高北 幸矢) | 〒485-8563 小牧市大字大草字年上坂6004 TEL:0568-79-1111 http://www.nzu.ac.jp/ | 大学院:造形研究科 学部:造形学部 |

| 大学名 (学長) | 所在地・連絡先・ホームページアドレス | 学部 |
|------------------------|---|---|
| 名古屋文理大学 (滝川 嘉彦) | 〒492-8520 稲沢市稲沢町前田 365 TEL:0587-23-2400 http://www.nagoya-bunri.ac.jp/ | 学部: 情報メディア学部、健康生活学部、短期大学部 |
| 南山大学 (ミカエル・カルマノ) | 名古屋キャンパス TEL:052-832-3111 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18 瀬戸キャンパス TEL:0561-89-2000 〒489-0863 瀬戸市せいせい町 27 http://www.nanzan-u.ac.jp/ | 大学院: 法務研究科、経済学研究科、人間文化研究科、ビジネス研究科、国際地域文化研究科、総合政策研究科、数理情報研究科 学部: 人文学部、経済学部、経営学部、法学部、外国語学部、総合政策学部、情報理工学部 |
| 日本赤十字豊田看護大学 (渡邊 英夫) | 〒471-8565 豊田市白山町七曲 12-33 TEL 0565-36-5111 http://www.rctoyota.ac.jp/ | 大学院: 看護学研究科 学部: 看護学部 |
| 日本福祉大学 (加藤 幸雄) | 美浜キャンパス TEL:0569-87-2211 〒470-3295 知多郡美浜町奥田 半田キャンパス TEL:0569-20-0111 〒475-0012 半田市東生見町 26-2 名古屋キャンパス TEL:052-242-3022 〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35 http://www.n-fukushi.ac.jp/ | 大学院: 社会福祉学研究科、国際社会開発研究科、福祉社会開発研究科、医療・福祉マネジメント研究科 学部: 社会福祉学部、情報社会科学部、福祉経営学部、経済学部、健康科学部、子ども発達学部、国際福祉開発学部 |
| 人間環境大学 (八木 聡明) | 〒444-3505 岡崎市本宿町上三本松 6-2 TEL 0564-48-7811 http://www.uhe.ac.jp/ | 大学院: 人間環境学研究科 学部: 人間環境学部 |
| 藤田保健衛生大学 (野村 隆英) | 〒470-1192 豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98 TEL:0562-93-2000 http://www.fujita-hu.ac.jp/ | 大学院: 医学研究科、保健学研究科 学部: 医学部、医療科学部 |
| 名城大学 (中根 敏晴) | 天白キャンパス TEL:052-832-1151 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口 1 丁目 501 八事キャンパス TEL:052-832-1781 〒468-8503 名古屋市天白区八事山 150 可児キャンパス TEL:0574-69-0100 〒509-0261 岐阜県可児市虹ヶ丘 4-3-3 http://www.meijo-u.ac.jp/ | 大学院: 法学研究科、経営学研究科、経済学研究科、理工学研究科、農学研究科、薬学研究科(募集停止)、都市情報学研究科、総合学術研究科、法務研究科、大学・学校づくり研究科、人間学研究科 学部: 法学部、経営学部、経済学部、理工学部、農学部、人間学部、薬学部、都市情報学部 |

(2) 研究機関

| 機関名 | 所在地・連絡先 | ホームページアドレス |
|-----------------------------|---|---|
| (独)国立長寿医療研究センター研究所 | 〒474-8511 大府市森岡町源吾 35 TEL:0562-46-2311 | http://www.ncgg.go.jp/research/ |
| 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 基礎生物学研究所 | (明大寺地区) 〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中 38 (山手地区) 〒444-8787 岡崎市明大寺町字東山 5-1 TEL:0564-55-7652 | http://www.nibb.ac.jp/ |
| 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 生理学研究所 | 〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中 38 TEL:0564-55-7700 | http://www.nips.ac.jp/ |
| 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 分子科学研究所 | (明大寺地区) 〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中 38 (山手地区) 〒444-8787 岡崎市明大寺町字東山 5-1 TEL:0564-55-7418 | http://www.ims.ac.jp/index.html |
| (独)産業技術総合研究所 中部センター | 〒463-8560 名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞 2266-98 TEL:052-736-7000 | http://unit.aist.go.jp/chubu/ci/ |
| (独)理化学研究所 基幹研究所 名古屋支所 | 〒463-0003 名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞 2271-130 TEL:052-736-5850 | http://www.asi.riken.jp/index.html |

| 機関名 | 所在地・連絡先 | ホームページアドレス |
|----------------|---|---|
| (財)スポーツ医・科学研究所 | 〒470-2212 知多郡阿久比町大字卯坂字浅間裏 49 TEL 0569-48-7383 | http://www.sorc.or.jp/ |

(3) 地域研究支援機関等

| 機関名 | 所在地・連絡先 | ホームページアドレス |
|---------------------------------|--|---|
| (独)科学技術振興機構 JST イノベーションプラザ東海 | 〒457-0063 名古屋市南区阿原町 23-1 TEL:052-829-3160 | http://www.tokai.jst-plaza.jp/ |
| (独)中小企業基盤整備機構 中小企業大学校瀬戸校 | 〒489-0001 瀬戸市川平町 79 TEL:0561-48-3400 | http://www.smrj.go.jp/inst/seto/ |
| (財)名古屋都市産業振興公社 | 〒464-0856 名古屋市千種区吹上二丁目 6-3 TEL (052)735-2115 | http://www.nipc.city.nagoya.jp/ |
| (財)あいち産業振興機構 | 〒460-0002 名古屋市中村区名駅四丁目 4-38 愛知県産業労働センター14 階 TEL 052-715-3061 | http://www.aibsc.jp/ |
| (株)サイエンス・クリエイト | 〒441-8113 愛知県豊橋市西幸町字浜池 333-9 TEL 0532-44-1111 | http://www.tsc.co.jp/ |
| (株)名古屋ソフトウェアセンター | 〒460-0022 名古屋市中区金山五丁目 11-6 TEL 052-883-1200 | http://www.nagoya-sc.co.jp/ |

(4) 科学館等

| 機関名 | 所在地・連絡先 | ホームページアドレス |
|------------------------|--|---|
| あいち健康プラザ健康科学館 | 〒470-2101 知多郡東浦町大字森岡字源吾山1-1 TEL:0562-82-0211 | http://www.ahv.pref.aichi.jp/ |
| 愛知県陶磁資料館 | 〒489-0965 瀬戸市南山口町 234 TEL:0561-84-7474 | http://www.pref.aichi.jp/touji/ |
| 愛知県下水道科学館 | 〒490-1301 稲沢市平和町須ヶ谷長田 295-3 TEL 0567-47-1551 | http://www.eppy.jp/ |
| 名古屋市東山動植物園 | 〒464-0804 名古屋市千種区東山元町 3-70 TEL:052-782-2111 | http://www.higashiyama.city.nagoya.jp/ |
| 名古屋市科学館 | 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-17-1 TEL:052-201-4486 | http://www.ncsm.city.nagoya.jp/ |
| 東栄町立博物館 | 〒449-0214 北設楽郡東栄町大字本郷字大森 1 TEL 0536-76-1266 | http://www.town.toei.aichi.jp/ |
| 新城市鳳来寺山自然科学博物館 | 〒441-1944 新城市門谷字森脇 6 TEL 0536-35-1001 | http://www.city.shinshiro.lg.jp/index.cfm/1,0,118,663.html |
| 豊橋市自然史博物館 | 〒441-3147 豊橋市大岩町字大穴1-238 TEL 0532-41-4747 | http://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/ |
| 豊川ジオスペース館 | 〒442-0068 豊川市諏訪1丁目 63 TEL 0533-85-5536 | http://libweb.lib.city.toyokawa.aichi.jp/index4.htm |
| 津島市児童科学館 | 〒496-0072 津島市南新開町2-74 TEL:0567-24-8743 | http://www.city.tsushima.lg.jp/index.php?pid=343 |
| とよた科学体験館 | 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町1丁目25 TEL:0565-37-3007 | http://www.toyota-kagakutaikenkan.jp/ |
| 碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館 | 〒447-0853 碧南市浜町2-3 TEL:0566-48-3761 | http://www.city.hekinan.aichi.jp/aquarium/ |
| 蒲郡情報ネットワークセンター 生命の海科学館 | 〒443-0034 蒲郡市港町 17-17 TEL:0533-66-1717 | http://www.city.gamagori.lg.jp/site/kagakukan/ |

| 機関名 | 所在地・連絡先 | ホームページアドレス |
|---------------------|--|---|
| 名古屋海洋博物館 | 〒455-0033 名古屋市港区港町1-3 TEL:052-652-1111 | http://www.nagoyaaqua.jp/muse/ |
| 名古屋港水族館 | 〒455-0033 名古屋市港区港町1-3 TEL:052-654-7080 | http://www.nagoyaaqua.jp/aqua/ |
| 世界サル類動物園 日本モンキーセンター | 〒484-0081 犬山市犬山官林26 TEL:0568-61-2327 | http://www.j-monkey.jp/ |
| 航空館 boon | 〒480-0201 西春日井郡豊山町大字青山字神明 120-1 TEL:0568-29-0036 | http://www.town.toyoyama.lg.jp/2sisetu/02koukyou/boon.html |
| 南知多ビーチランド | 〒470-3233 知多郡美浜町奥田字儀路 428-1 TEL:0569-87-2000 | http://www.beachland.jp/ |
| 東邦ガス・ガスエネルギー館 | 〒476-8501 東海市新宝町 507-2 TEL:052-603-2527 | http://www.tohogas.co.jp/gas-enekan/ |
| 産業技術記念館 | 〒451-0051 名古屋市西区則武新町 4-1-35 TEL:052-551-6115 | http://www.tcmiit.org/ |
| ノリタケの森クラフトセンター | 〒451-8501 名古屋市西区則武新町 3-1-36 TEL:052-561-7290 | http://www.noritake.co.jp/mori/ |
| 国盛 酒の文化館 | 〒475-0878 半田市東本町 2-24 TEL:0569-23-1499 | http://www.nakanoshuzou.jp/sake/ |
| 博物館「酔の里」 | 〒475-8585 半田市中村町 2-6 TEL:0569-24-5111 | http://www.mizkan.co.jp/sunosato/ |
| INAXライブミュージアム | 〒479-8586 常滑市奥栄町 1-130 TEL:0569-34-8282 | http://www.inax.co.jp/ilm/ |
| トヨタ博物館 | 〒480-1131 愛知郡長久手町大字長湫字横道 41-100 TEL:0561-63-5151 | http://www.toyota.co.jp/Museum/index-j.html |
| でんきの科学館 | 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄二丁目 2-5 TEL:052-201-1026 | http://www.chuden.co.jp/e-museum/ |
| 鍛造技術の館 | 〒476-0003 東海市荒尾町ワノ割1 TEL:052-604-1111 | http://www.aichi-steel.co.jp/sp_info/for_g.html |

(5) 特定非営利活動法人 (NPO)

| 所轄庁 | 団体名称 | 主たる事務所の住所 |
|-----|----------------------|-------------------------------------|
| 内閣府 | 日本サイエンスサービス | 名古屋市中区錦三丁目 6 番 17 号 |
| 内閣府 | ICDSキャリア・デザイン・サポーターズ | 名古屋市天白区鴻の巣一丁目 504 番地 八事東サンハイツ 202 号 |
| 内閣府 | 医薬品適正使用推進機構 | 名古屋市天白区表山三丁目 1509 番地 |
| 内閣府 | DEVNET国際後援日本協会 | 名古屋市東区代官町 35 番 16 号 |
| 内閣府 | からくりロボット | 名古屋市中村区豊国通一丁目 2 番地、株式会社ジェー・シー・エム内 |
| 内閣府 | 愛・地球プラットホーム | 名古屋市北区尾上町 1 番地の 2(尾上団地 4 棟 510 号) |
| 愛知県 | 長久手エンジン | 愛知郡長久手町打越 1805 |
| 愛知県 | アジア志民交流協会 | 小牧市西之島 8 0 3 番地 1 |
| 愛知県 | いぬやまe-コミュニティーネットワーク | 犬山市大字犬山字藪下 5 番地 |
| 愛知県 | 犬山学術文化交流センター | 犬山市松本町 4 丁目 21 番地 |
| 愛知県 | コミュニティプラン | 名古屋市天白区八幡山 831 番地 |
| 愛知県 | ABCC | 豊橋市南瓦町 14 番地の 1 |
| 愛知県 | 養賢科学技術研究所 | 愛知郡長久手町山野田 113 番地 |
| 愛知県 | 犬山市民活動支援センターの会 | 犬山市大字犬山字北古券甲 98 番地の 1 |
| 愛知県 | バイオものづくり中部 | 名古屋市中区栄 2 丁目 17 番 22 号 |

| 所轄庁 | 団体名称 | 主たる事務所の住所 |
|-----|-----------------|---|
| 愛知県 | 東海テクノサポート | 豊川市白鳥町上郷中 28 番地 |
| 愛知県 | 名古屋外科支援機構 | 名古屋市瑞穂区駒場町 3 丁目 1 番地の 3 |
| 愛知県 | テクノプロス | 名古屋市天白区境根町 95 番地 |
| 愛知県 | 伊勢湾フォーラム | 名古屋市中区錦三丁目 2 番 1 号 |
| 愛知県 | 日本クリーンエネルギー振興会 | 額田郡幸田町大字桐山字立岩 1 番地 100 |
| 愛知県 | ITS プラットフォーム21 | 名古屋市天白区原 4 丁目 1601 番地の 1 |
| 愛知県 | シニアキャリアサポート | 名古屋市中区栄四丁目 16 番 8 号栄メンバーズオフィスビル 406A |
| 愛知県 | 日中技術交流センター | 名古屋市中区大須三丁目 30 番 60 号 |
| 愛知県 | 雨水利用と緑化を進める会 | 名古屋市西区中小田井四丁目 303 番地 |
| 愛知県 | エコトピア・リエゾン21 | 犬山市字東北野 255 番地 37 |
| 愛知県 | 東海地域生物系先端技術研究会 | 知多郡武豊町字南中根 40-1 |
| 愛知県 | グリーンデザイン | 名古屋市名東区植園町 1 丁目 25 番地 ユーハイム植園 301 号 |
| 愛知県 | 東海技術交流センター | 名古屋市千種区内山三丁目 31 番 27 号 |
| 愛知県 | 国際技術文化交流センター | 名古屋市中区栄四丁目 16 番 24 号 |
| 愛知県 | 楽知ん研究所 | 名古屋市名東区亀の井 1-175 ヴェルビュ星ヶ丘 NE 棟 107 |
| 愛知県 | キャリアアップセンター | 名古屋市西区名駅二丁目 34 番 17 号 セントラル名古屋 708 |
| 愛知県 | まほろば | 西尾市新在家町三四山 28 番地2 |
| 愛知県 | ウェザーフロンティア東海 | 名古屋市千種区田代町蝮池上 108 番地の 78 |
| 愛知県 | 国際産業開発機構 | 稲沢市稲島東三丁目 108 番地 1 |
| 愛知県 | マルベリークラブ中部 | 名古屋市天白区植田東二丁目 1606 番地 |
| 愛知県 | 中小企業支援ネット | 岡崎市美合町字生田 14 番地 6 |
| 愛知県 | 愛・地球博ボランティアセンター | 名古屋市中村区松原町 1 丁目 24 番地 |
| 愛知県 | ハンドフロンティア | 名古屋市千種区法王町二丁目 3 番地の 1 (グランスイ ーツ覚王山法王町 804 号) |
| 愛知県 | 食育推進ネットワーク | 名古屋市緑区大高町下塩田 40 番地 |
| 愛知県 | あいち菜の花活用推進協議会 | 名古屋市港区港栄三丁目 1-7 |
| 愛知県 | 名古屋レール・アーカイブス | 名古屋市中村区井深町 1 番 1 号 新名古屋センタービル・本陣街 1224 号室 |
| 愛知県 | MERI Japan | 名古屋市千種区末盛通 2 丁目 4 番地 はちや整形外科 病院内 |
| 愛知県 | プライメイト・アゴラ | 名古屋市中村区名駅南 1 丁目 20 番 11 号 |
| 愛知県 | こまき市民活動ネットワーク | 小牧市小牧二丁目 107 番地 小牧市公民館内 |
| 愛知県 | いのちの歌国際交流センター | 名古屋市名東区文教台三丁目 409 番地ライオンズマン ション廻間公園 505 号 |
| 愛知県 | 幡豆・三河湾ねっと | 西尾市西幡豆町郷中 18 番地 |
| 愛知県 | 日本住宅環境検査機構 | 名古屋市北区柳原 1 丁目 14 番 22 号 |
| 愛知県 | 日本医療機器技術支援協会 | 名古屋市中村区名駅南 2 丁目 7 番 2 号 |
| 愛知県 | 日本マルファン協会 | 名古屋市中村区松原町 1-24COMBi 本陣 N105 |
| 愛知県 | 地域市民メディアおわりあさひ | 尾張旭市南原山町赤土 181 番地 正和荘 104 号 |
| 愛知県 | 日本食品安全協会 | 名古屋市千種区千種 3 丁目 22 番地 22 号 |
| 愛知県 | 名古屋脊椎グループ | 名古屋市港区港明 1 丁目 10 番 6 号 中部労災病院 整 形外科内 |
| 愛知県 | ドリーム・コンプレックス | 名古屋市名東区本郷 2 丁目 150 番地 本郷パネデスビ ル 1F |
| 愛知県 | 建設経営者倶楽部 | 名古屋市中村区名駅四丁目 2 番 28 号名古屋第二埼玉 ビル |
| 愛知県 | サンバザグループ | 名古屋市昭和区萩原町 2 丁目 43 番地の 1 |
| 愛知県 | ネクストライ | 名古屋市中区栄四丁目 16 番 3 号山光堂ビル 4F |
| 愛知県 | 有用プランツ普及協会 | 名古屋市瑞穂区汐路町三丁目 40 番地名古屋女子大学 公衆衛生学研究室内 |

| 所轄庁 | 団体名称 | 主たる事務所の住所 |
|-----|--------------------------|---|
| 愛知県 | 日本移植未来プロジェクト | 名古屋市中区栄 3-23-12 |
| 愛知県 | 刈谷おもちゃ病院 | 刈谷市半城土町庚申塚 136 番地 |
| 愛知県 | 飛鳥 | 名古屋市熱田区二番一丁目 11 番 5 号 |
| 愛知県 | 外国人支援交流情報センター | 名古屋市千種区下方町 1 丁目 25 番地 |
| 愛知県 | SAS 検診研究会 | 名古屋市千種区内山二丁目 15 番 6 号 |
| 愛知県 | 気分爽快 | 田原市田原町北乗鞍 11 番地 4 |
| 愛知県 | 街や会 | 西尾市寄住町若宮 37 番地 |
| 愛知県 | 生体材料研究所 | 名古屋市南区明治二丁目 18 番 5 号 |
| 愛知県 | 高蔵寺ニュータウン再生市民会議 | 春日井市押沢台 1 丁目 4 番地 12 |
| 愛知県 | 建設技術サポートセンター | 名古屋市千種区富士見台 4 丁目 1 番地ガーデンヒルズ 富士見台 5-106 |
| 愛知県 | 時計 BUNKA | 名古屋市中村区中村本町四丁目 27 番地 2 号 |
| 愛知県 | 放射線環境・安全カウンスル | 春日井市押沢台 1 丁目 6 番地 14 |
| 愛知県 | アジア技術協力ネットワーク | 名古屋市中区千代田四丁目 14 番 14 号 |
| 愛知県 | ささえあい | 名古屋市名東区本郷二丁目 21 番地 |
| 愛知県 | 未来エネルギー | 名古屋市中川区二女子町五丁目 29 番地 |
| 愛知県 | 全国在宅リハビリテーションを考える会 | 名古屋市中区千代田二丁目 6 番 18 号 |
| 愛知県 | ひと育て・モノづくり・まちづくり達人ネットワーク | みよし市打越町南屋敷 44 番地 |
| 愛知県 | 愛知県シングルパパ・ママの会 | 名古屋市天白区笹原町 708 番地メゾンエスポワール 201 号 |
| 愛知県 | グリーンエネルギーパートナーシップ | 稲沢市長野一丁目 8 番 29 号 |
| 愛知県 | 日本貴州交誼協会 | 名古屋市中村区名駅三丁目 1 3 番 2 8 号 名駅セブ ンスタービル 6 0 4 |
| 愛知県 | 三河サイエンスネット | 蒲郡市形原町春日浦 2 番地 7 |
| 愛知県 | ウェブリテラシー協会 | 名古屋市千種区上野三丁目 8 番 24 号 |
| 愛知県 | 鶴舞骨軟部腫瘍研究会 | 名古屋市天白区御幸山 1106 番地 |
| 愛知県 | 日本インドネシア友好協会 | 春日井市押沢台四丁目 14 番地 8 |
| 愛知県 | 東山動物園くらぶ | 名古屋市中区丸の内 2 丁目 17 番 12 号 丸の内エス テートビル 303 号 |

※内閣府 NPO ホームページより、主たる事務所「愛知県」、活動分野「科学技術の振興を図る活動」から抽出

6. 国等の主なプロジェクトの採択状況

(1) 食品健康影響評価技術研究（内閣府所管）

| 課題名 | 研究者 | |
|--------------------------------|-------|------|
| フタル酸エステル生殖・次世代影響の健康リスク評価に関する研究 | 名古屋大学 | 那須民江 |

(2) 最先端・次世代研究開発支援プログラム（内閣府・文部科学省所管）

ア 理工系

| 課題名 | 研究者 | |
|---|---------|--------|
| 芳香環連結化学のブレークスルー | 名古屋大学 | 伊丹 健一郎 |
| サステナブル化学合成を担うイオン性非金属触媒の設計と機能創出 | 名古屋大学 | 大井 貴史 |
| 植物由来モノマー群の精密重合による新規バイオベースポリマーの構築 | 名古屋大学 | 上垣外 正己 |
| アジア高山域における山岳氷河変動が水資源に与える影響の評価 | 名古屋大学 | 坂井 亜規子 |
| ナノ液体膜の微細パターンングによる機能性薄膜潤滑システムの創成 | 名古屋大学 | 張 賀東 |
| 光による半導体ナノ粒子の異方性形状制御とエネルギー変換材料への応用 | 名古屋大学 | 鳥本 司 |
| 環境社会最適化シミュレーションを可能にする社会最適化アルゴリズム創出とその応用 | 名古屋工業大学 | 伊藤 孝行 |
| バクテリオナノファイバー蛋白質の機能を基盤とする界面微生物プロセスの構築 | 名古屋大学 | 堀 克敏 |

イ 生物系

| 課題名 | 研究者 | |
|------------------------------|-------|--------|
| 植物ホルモン・ジベレリンを利用した高バイオマス植物の作出 | 名古屋大学 | 上口 美弥子 |

(3) 戦略的情報通信研究開発推進制度（SCOPE）（総務省所管）

ア 若手 ICT 研究者育成型研究開発

| 課題名 | 研究代表者 | | 研究分担者 |
|-------------------------------|----------|------|-------|
| ヒトの顔情報処理メカニズムにおける因果関係に関する研究開発 | 豊橋技術科学大学 | 南 哲人 | — |

イ 地域 ICT 振興型研究開発

| 課題名 | 研究代表者 | | 研究分担者 |
|--|----------|-------|-------------------------------------|
| 地域産学・産産連携・知財戦略支援のためのテキストマイニング技術に基づくパテントマップ型シーズ知的探索システムのプロトタイプ版開発 | 豊橋技術科学大学 | 増山 繁 | 豊橋技術科学大学 4 名、株式会社豊橋キャンパスイノベーション 3 名 |
| 地域コミュニティにおける議論活性化のための住民参画 Web プラットフォームの開発 | 名古屋工業大学 | 新谷 虎松 | 名古屋工業大学 2 名 |

(4) 先進技術型研究開発助成金（（独）情報通信研究機構）

| 課題名 | 助成対象事業者 |
|--|------------|
| 動作条件クランプ型光リアンプの研究開発 | カナレ電気(株) |
| 先進的 LCOS プロセッサを用いた次世代 ROADM 装置用チューナブルフィルタ・アレイの研究開発 | santec株式会社 |

(5) 消防防災科学技術研究推進制度（消防庁所管）

| 課題名 | 代表者所属機関 | |
|-----------------------------------|-------------------|-------|
| 災害時の倒壊構造物の安定化のためのショアリング基本構造の理論的研究 | 豊橋技術科学大学(香南市消防本部) | 足立 忠晴 |

(6) 科学研究費補助金（文部科学省所管）

ア 特別推進研究

| 課題名 | 研究代表者 | |
|---------------------------------------|-------|-------|
| 省電力／超高速ナノCMOSのための電子物性設計と高移動度チャネル技術の創生 | 名古屋大学 | 財満 鎮明 |

イ 基盤研究（S）

| 課題名 | 研究代表者 | |
|-------------------------------|-------|--------|
| 格子、保型形式とモジュライ空間の総合的研究 | 名古屋大学 | 金銅 誠之 |
| 対称性の破れとゲージダイナミクス | 名古屋大学 | 益川 敏英 |
| 原子ナノワイヤー内包ナノチューブの創製と物性探索 | 名古屋大学 | 篠原 久典 |
| ミトコンドリア膜を舞台としたタンパク質の交通管制機構の解明 | 名古屋大学 | 遠藤 斗志也 |

(7) 科学技術振興調整費（文部科学省所管）

- ・健康研究成果の実用化加速のための研究・開発システム関連の隘路解消を支援するプログラム

| 提案課題名 | 実施機関名 | 代表者名 |
|----------------------|--------------|-------|
| 歯延命化をめざす歯髄再生実用化の隘路解消 | 国立長寿医療研究センター | 大島 伸一 |

(8) 戦略的創造研究推進事業（(独)科学技術振興機構所管）

- ・CREST（チーム型研究）

| 研究領域 | 研究課題名 | 所属機関 | 氏名 |
|------------------------------|-------------------|-------|--------|
| プロセスインテグレーションに向けた高機能ナノ構造体の創出 | ナノラジカル界面からの電子機能発現 | 名古屋大学 | 阿波賀 邦夫 |
| | ソフトπマテリアルの創製と機能発現 | 名古屋大学 | 山口 茂弘 |

- ・さきがけ（個人型研究）

| 研究領域 | 研究課題名 | 所属機関 | 氏名 |
|-------------------|--------------------------------------|-----------|-------|
| 情報環境と人 | 発話行動の階層的理解に基づく相互適応型音声インタラクション | 名古屋大学 | 駒谷 和範 |
| 光エネルギーと物質変換 | 籠型分子の内部に展開する光-物質変換機能触媒の創出 | 名古屋工業大学 | 船橋 靖博 |
| エピジェネティクスの制御と生命機能 | がんの組織多様性に関わるエピジェネティクス可塑性とその制御機構 | 愛知県がんセンター | 近藤 豊 |
| 光の利用と物質材料・生命機能 | 二光子励起で発生させるガス状細胞情報伝達分子を駆使したストレス計測 | 名古屋市立大学 | 中川 秀彦 |
| ナノシステムと機能創発 | 膜マイクロマシニング技術を基盤とする共創的再生医療プラットフォームの構築 | 名古屋大学 | 池内 真志 |
| 脳情報の解読と制御 | 電気、化学、光学的マイクロ/ナノユーロプローブアレイの開発 | 豊橋技術科学大学 | 河野 剛士 |

- ・ERATO（総括実施型）

| プロジェクト名 | 研究総括 | |
|------------------|-------|-------|
| 東山ライブホロニクスプロジェクト | 名古屋大学 | 東山 哲也 |

- ・社会技術研究開発

| 研究開発プログラム | 研究課題名 | 所属機関 | 氏名 |
|-----------------------|-------------------------|--------------|-------|
| コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン | 新たな高齢者の健康特性に配慮した生活指標の開発 | 国立長寿医療研究センター | 鈴木 隆雄 |

(9) 先端計測分析技術・機器開発事業 ((独) 科学技術振興機構所管)

・要素技術プログラム

| 提案課題名 | 機関名 | 研究者名 |
|-------------------------|-------|-------|
| 熱・熱外中性子用高効率シンチレータ検出器の開発 | 名古屋大学 | 渡辺 賢一 |

・機器開発プログラム (領域非特定型)

| 提案課題名 | 機関名 | 研究者名 |
|-------------------------------|---------|-------|
| アルミナ基プロトン導電体を用いた熔融金属用水素センサの開発 | 名古屋工業大学 | 武津 典彦 |

(10) 研究成果最適展開支援事業 ((独) 科学技術振興機構所管)

・F S シーズ顕在化タイプ (情報通信分野)

| 提案課題名 | 研究者 | | 企業 |
|--|---------|--------|-------------|
| メタマテリアル電磁バンドギャップ周期構造による選択的電磁波透過・遮断周波数特性制御技術の開発 | 名古屋工業大学 | 榑原 久二男 | 小島プレス工業 (株) |

・F S シーズ顕在化タイプ (有機化学分野)

| 提案課題名 | 研究者 | | 企業 |
|--------------------|-----------|-------|------------|
| 環境に優しい撥水・強化段ボールの開発 | 名古屋市工業研究所 | 中野 万敬 | ダイナパック (株) |

・F S シーズ顕在化タイプ (医療技術分野)

| 提案課題名 | 研究者 | | 企業 |
|--------------------------------|-------|------|----------|
| 骨ステントと高靱性人工骨による低侵襲な脆弱性骨折治療法の開発 | 名古屋大学 | 平田 仁 | HOYA (株) |

・探索タイプ (情報通信分野)

| 提案課題名 | 機関 | 研究者 |
|-------------------------------|------------|-------|
| 伝統技法『絞りの絵付け・型彫り』工程の電子化システムの開発 | 愛知県産業技術研究所 | 福田 ゆか |

始め 16 件

・探索タイプ (装置・デバイス分野)

| 提案課題名 | 機関 | 研究者 |
|-----------------------------|--------|-------|
| スマートワッシャによるボルト緩み評価診断システムの開発 | 愛知工業大学 | 奥川 雅之 |

始め 15 件

・探索タイプ (無機化学分野)

| 提案課題名 | 機関 | 研究者 |
|--------------------------|------------|-------|
| 二液噴霧法による微細配線パターンの作製 | 愛知県産業技術研究所 | 吉元 昭二 |
| ショットブラストによるめっき前処理技術の開発 | 愛知県産業技術研究所 | 山口 敏弘 |
| 熱間発泡技術を利用した水質浄化材の開発 | 愛知県産業技術研究所 | 竹内 繁樹 |
| 燃料電池用無機-有機ハイブリッド型電解質膜の開発 | 愛知県産業技術研究所 | 梅田 隼史 |

| | | |
|-----------------------------------|------------|------|
| X線照射による紫外線励起型蛍光特性を付与した可逆性着色ガラスの開発 | 愛知県産業技術研究所 | 福原 徹 |
|-----------------------------------|------------|------|

始め 17件

・探索タイプ（有機化学分野）

| 課題名 | 機関 | 研究者 |
|----------------------------------|------------|--------|
| 未利用・廃棄ケラチンのケミカルリサイクルによる再生毛髪の開発 | 愛知県産業技術研究所 | 金山 賢治 |
| 赤外線選択反射機能と高い断熱性能をあわせ持つフラットヤーンの開発 | 愛知県産業技術研究所 | 原田 真 |
| 天然繊維により強化した木質系プラスチックの開発 | 愛知県産業技術研究所 | 高橋 勤子 |
| かさ高な超極細オレフィン系繊維の開発 | 愛知県産業技術研究所 | 佐藤 嘉洋 |
| 薬剤浸透性向上のための木材改質処理法の開発 | 愛知県産業技術研究所 | 柴田 美代子 |
| オゾンマイクロバブルを利用したスーパー繊維の表面改質処理の開発 | 愛知県産業技術研究所 | 小林 孝行 |
| 農産物由来原料を用いたエコ&ナチュラル染色に関する研究 | 愛知県産業技術研究所 | 浅野 春香 |

始め 17件

・探索タイプ（アグリ・バイオ分野）

| 課題名 | 機関 | 研究者 |
|--------------------------------|------------|-------|
| 黒麹菌発酵小豆（小豆麹）を利用した新規小豆発酵食品の開発 | 愛知県産業技術研究所 | 山本 晃司 |
| 乳酸菌による食品洗浄水の再資源化 | 愛知県産業技術研究所 | 石川 健一 |
| イチゴ重要病害の感染を1時間で検出できるDNA診断技術の開発 | 愛知県農業総合試験場 | 黒柳 悟 |

始め 7件

・探索タイプ（医療技術分野）

| 課題名 | 機関 | 研究者 |
|---------------|----------|-------|
| 新規な細胞培養添加剤の開発 | 愛知県水産試験場 | 松村 貴晴 |

始め 14件

・探索タイプ（創薬分野）

| 課題名 | 機関 | 研究者 |
|--------------------|------|------|
| 新規インスリン抵抗性改善剤の開発研究 | 中部大学 | 山下 均 |

始め 10件

（11）先端的低炭素化技術開発事業（ALCA）（(独)科学技術振興機構所管）

| 課題名 | 実施機関名 | 研究者名 |
|-------------------------|-------------------|-------|
| 気孔開度制御による植物の光合成活性と生産量増大 | 名古屋大学大学院理学研究科 | 木下 俊則 |
| 光を使う熱電変換材料の開発 | 名古屋大学大学院理学研究科 | 寺崎 一郎 |
| ハイブリッドナノカーボン太陽電池の創成 | 名古屋大学プラズマナノ工学センター | 堀 勝 |

（12）戦略的イノベーション創出促進（(独)科学技術振興機構所管）

| 課題名 | | PM名 |
|-------------------------------|-----------|-------|
| 高齢者の自立を支援し安全安心社会を実現する自動運転システム | トヨタ自動車(株) | 井上 秀雄 |

(13) 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業（農林水産省所管）

- ・研究領域設定型研究（競争力強化のための生産システムの改善）

| 課題名 | 委託先（研究グループ） |
|---------------------------------|--------------|
| 広帯域分光方式による革新的な木材多形質高速非破壊測定装置の開発 | 名古屋大学始め5グループ |

- ・現場実証支援型研究

| 課題名 | 委託先（研究グループ） |
|---|-----------------|
| 既存着定基質への海藻種苗の移植と食害防除による効率的な藻場再生技術の実証試験 | 愛知県水産試験場始め5グループ |
| 種苗生産の早期安定化と放流効果の正確な判定によるクルマエビ類の栽培技術の高度化 | 愛知県水産試験場始め6グループ |

(14) イノベーション創出基礎的研究推進事業（(独)農業・食品産業技術総合研究機構所管）

- ・技術シーズ開発型研究 一般枠

| 提案課題名 | 機関名 | 研究者名 |
|--------------------------------|-----------------|-------|
| 生体内ピンポイントDDS技術による家畜疾病防御ワクチンの創製 | 名古屋大学大学院生命農学研究科 | 黒田 俊一 |

(15) 地域イノベーション創出研究開発事業（経済産業省所管）

- ・地域資源活用型

| テーマ名 | 管理法人 | プロジェクトマネージャー | 所属 | 研究体 |
|--------------------------------|--------------------|--------------|----------------|---|
| マルチモーダルセンサによる施設園芸生産安定支援システムの開発 | 株式会社豊橋キャンパスイノベーション | 伊藤 隆一郎 | 日本オペレーター株式会社 | 株式会社豊橋キャンパスイノベーション、日本オペレーター株式会社、株式会社ファルコン、国立大学法人豊橋技術科学大学、愛知県農業総合試験場 |
| 可視光通信による視覚障害者向け情報灯台システム研究開発 | 財団法人名古屋産業科学研究所 | 大照 洋一 | 日本電気通信システム株式会社 | 財団法人名古屋産業科学研究所、国立大学法人名古屋大学、日本電気通信システム株式会社、株式会社グリーンユーティリティ、社会福祉法人名古屋ライトハウス |

(16) 保健医療分野における基礎研究推進事業（厚生労働省所管）

| 研究プロジェクト名 | 総括研究代表者 | 所属機関 |
|----------------------|---------|-------|
| 神経変性疾患に対する革新的な治療薬の創生 | 錫村 明生 | 名古屋大学 |

(17) 省エネルギー革新技術開発事業（(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構所管）

| 提案課題名 | 機関名 |
|-------------------|-----------|
| 車載用高効率ヒートポンプの研究開発 | 株式会社 デンソー |

(18) 地球環境研究総合推進費（環境省所管）

| 研究領域 | 研究課題名 | 研究課題代表者 | |
|-------------|---|---------|----------------|
| 環境問題対応型研究領域 | 次世代自動車等低炭素交通システムを実現する都市インフラと制度に関する研究 | 森川高行 | 名古屋大学 |
| 革新型研究開発領域 | エアロゾルの放射影響の定量化のための二次有機エアロゾルの光吸収特性に関する研究 | 中山智喜 | 名古屋大学太陽地球環境研究所 |